

JTU Magazine

for triathletes



the home of
triathlon



©Delly Carr/ITU

公益社団法人 日本トライアスロン連合 <JTUマガジン 総合版> 2016 年度 Vol.1

トライアスロン2016

2016 JTU Magazine Vol.1



ASTCアジアトライアスロン選手権ニュータイペイ大会



ITU世界トライアスロンシリーズ横浜大会



第21回日本トライアスロン選手権東京港大会



ITU世界トライアスロンシリーズグランドファイナルシカゴ大会



ITUトライアスロンアジアカップ大阪大会



ITU世界トライアスロンシリーズグランドファイナルシカゴ大会



第21回日本トライアスロン選手権東京港大会



第21回日本トライアスロン選手権東京港大会



ASTCアジアトライアスロン選手権ニュータイペイ大会

ITU世界トライアスロンシリーズ横浜大会





第21回日本トライアスロン選手権東京港大会



第5回日本U23トライアスロン選手権



ITU世界トライアスロンシリーズ横浜大会



ITUトライアスロンアジアカップ蒲郡大会



ITU世界トライアスロンシリーズ横浜大会



NTT
西日本

“光”ひろがる。ひびきあう。



一人では見ることのできない世界へ。

さあ、行こうぜ!



トライアスロン・マラソン・ファンランの エントリーなら

LAWSON SPORTS



トライアスロン マラソン 自転車 ファンラン などの幅広いラインナップ!

- LAWSON SPORTS で全国で開催される参加型スポーツのイベント情報をゲット!!
- お目当ての大会に簡単エントリー!!
- エントリーごとにPontaポイントも貯まる!!

>>> 詳細・エントリーは

<http://lawson-ds.jp/> ※対象:PC/スマホ ※ローソンWEB会員(無料)登録必須

- 採用実績
- 第50回青梅マラソン / オフィシャルエントリーサイト
 - 横浜マラソン2016 / オフィシャルエントリーサイト
 - 日本トライアスロン連合 / 公式エントリーサイト など

問合せ ▶ ローソンチケットスポーツオペレーターダイヤル
0570-000-732 (10:00-20:00)
lds@lhe.lawson.co.jp



トライアスロンと 関連競技の地位を 確固たるものにするために

公益社団法人日本トライアスロン連合(JTU) 会長 國分孝雄

—：國分会長は、2015年10月に前任の岩城光英会長から会長職を引き継がれました。

國分孝雄 JTU会長：2016年の今年は、第31回夏季オリンピック競技大会／第15回夏季パラリンピック競技大会(リオデジャネイロ／2016)がブラジルで行われます。これは、日



本のトライアスロンにとって、シドニー、アテネ、北京、ロンドンに続いて5回目の挑戦となります。また、パラリンピックへのパラトライアスロンの登場は初めてとなります。JTUでは、ほかの競技団体とは違って、パラトライアスロンも統轄していますので、さらに忙しい1年となります。

—：着々と準備は進んでいることと思います。

國分：リオデジャネイロでの出場権を得るべく、今年のITU世界トライアスロンシリーズ・アブダビ大会、ゴールドコースト大会、ケープタウン大会、横浜大会で、各選手はラストパートをかけています。また4月29日(金・祝)～5月1日(日)にかけて、ASTCアジアトライアスロン選手権2016が広島県廿日市で開催されます。ここでは、アジア大陸枠の獲得が確実です。

さらに、5月14日(土)、15日(日)

に行われるITU世界トライアスロンシリーズ横浜大会は、オリンピックへの国別出場枠獲得の最終戦となっており、日本ナショナルチームの活躍が期待できます。

パラトライアスロンでは、リオデジャネイロパラリンピック日本代表選考会として3月20日(日)にITU世界パラトライアスロンイベント・パッファローシティー大会が行われ、日本選手が参加しました。こちらも、最終コーナーを回りつつあるといったところ です。

—：昨年、NTTジャパンランキングに改訂し、トップ選手たちの実力を世界レベルに高める動きがありました。

國分：その効果はまだ十分とはいえませんが、4年後の第32回夏季オリンピック競技大会／第16回夏季パラリンピック競技大会(東京／2020)で結果を出すべく、努力を続けていきたいと考えています。いず

CONTENTS

- 8 トライアスロンと関連競技の地位を確固たるものにするために
公益社団法人日本トライアスロン連合(JTU)会長 國分孝雄
- 10 日本最高峰のトライアスロンシーンを
トップ選手による熱き戦い
- 14 レースを楽しみ、世界を目指す
2016JTUエイジグループポイントランキング
2016JTUロングディスタンスエイジランキング
- 24 JTUトライアスロン強化対策
オリンピックで目標を達成するために
- 28 2016年世界主要大会
- 36 パラリンピックでの活躍を目標に
パラトライアスロン強化・普及事業
- 38 選手が安心して競技を行うために
指導者養成・審判員養成
- 42 メディカル・シンポジウム
第5回JTUトライアスロン・パラトライアスロンフォーラム開催
- 49 JTU News
- 54 日本のトライアスロンの歴史

れにせよ、2020年は大きな節目になると思って気持ちを引き締めてかかりたいと思います。

—：また今年は、第71回国民体育大会／2016希望郷いわて国体で、初めてトライアスロンが正式競技として採用されます。

國分：これにより、オリンピック競技大会、アジア競技大会、国民体育大会と、公的スポーツの場への参入が果たせました。これらはすべて、トライアスロンに関わっている方たちの努力の賜であり、未来へ向かっての基礎となるものと考えています。

今後は、2023年以降の全国高等学校総合体育大会（インターハイ）での競技採用に向けて力を注いでいきたいと思っています。

—：これで、一般の選手たちへの広がりも一層進みますね。

國分：3年前に岩城前会長が掲げた“岩城ミッション”を引き継ぎました。それは、「トライアスロン登録会員5

万人」「500大会」「愛好者50万人」を目標としたものですが、計画どおり2020年の達成を目指していきます。その裏付けとして、最近ではエイジグループポイントランキングが活況を呈していて、一般大会の盛り上がりがたいへん大きいものになっています。実は私もいちトライアスリートとして、このムーブメントを喜ばしいものとして受け止めています。今後はこの流れを受けて、トライアスロンチームをさらに大きなものにしていきたいと思っています。

—：今後のトライアスロンの発展についてはいかがでしょう。

國分：今年、日本トライアスロン連合は創立22周年を迎えますが、トライアスロンとJTUの地位をますます確固たるものにしていかなければなりません。そのため、JTU独自のマーケティングシステムを展開し、ガバナンスの強化、コンプライアンスの維持、危機管理、倫理保持態勢、そして

緊急通報窓口の設置など組織体制の強化に努めてまいります。

人の命には限りがありますが、トライアスロンは永遠に続くスポーツです。その意味では、私が岩城前会長から引き継いだように、今後もスムーズに世代交代をしていかなければなりません。それが万全に行えたとき、いつの時代にも輝いていけるトライアスロン競技、日本トライアスロン連合であり続けられると考えます。

—：責任の重さを感じます。

國分：これは私だけの力では、とうてい達成できません。これまで、さらに未来も応援していただけるNTT東日本・NTT西日本をはじめ多くのスポンサーの方々、大会関係者、トライアスロン愛好者、ボランティアの皆様、そしてトライアスロンサポーターの皆様にご感謝の念を送りつつ、さらなるご指導、ご鞭撻をお願いしたいと考えています。



JTU Magazine *for triathletes* 公益社団法人日本トライアスロン連合 総合版 2016年度 Vol.1

発行 公益社団法人日本トライアスロン連合
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-3-8 第二栄来ビル
TEL 03-5469-5401(代) FAX 03-5469-5403
Email jtuoffice@jtu.or.jp ホームページ www.jtu.or.jp

編集 公益社団法人日本トライアスロン連合 事業・広報チーム
デザイン (株)アートランド
印刷 光写真印刷(株)

©(公社)日本トライアスロン連合 2016

2016年4月22日発行



第21回日本トライアスロン選手権東京大会

NTT Triathlon Japan Ranking

NTT triathlon Japan Ranking

2016 NTTトライアスロン
ジャパンランキング

日本最高峰の トライアスロン シーンを トップ選手による熱き戦い

2015年に世界初の試みとして始まった「NTTジャパンランキング」は、今年も昨年同様国際トライアスロン連合（ITU）が毎週発表しているITUポイントと連動し、最新の1年間の獲得ポイントに日本選手権の特別ポイントを加え年間ランキングを決定する。

今年からASTCアジアトライアスロン選手権（廿日市）が新たにランキング対象大会となり、8月にリオデジャネイロで開催される第31回夏季オリンピック競技大会のアジア大陸別選考会も兼ねた重要なレースとして位置づけられている。

また、第32回夏季オリンピック競技大会（2020/東京）での活躍が期待されるU19の選手を対象としたジュニアランキングは、今年で10回目を迎える。スプリントディスタンスの7レースを対象に、獲得ポイントの高い4大会の合計ポイントで順位を決定する。既に3月20日（日）のアジアジュニア選手権日本代表選考会（宮崎）から戦いはスタートしており、9月のITU世界ジュニア選手権（2016/コスメル）までランキングを争う。

その他、ロングディスタンスやU23などさまざまな大会が開催される。オリンピックイヤーとなる今年、選手たちはさらなる未来を見据え、国内外のレースに挑戦する。

NTTジャパンランキング

[1]対象大会とポイント加算（2016年3月4日現在）

レベル 1	ITU 世界トライアスロンシリーズグランドファイナル ※1位 1000p/1-50位に付与	レベル 7	ITUコンチネンタルカップ・プレミアム コンチネンタルカップ ※1位 200p/1-20位に付与
レベル 2	ITU 世界トライアスロンシリーズ ※1位 750p/1-50位に付与	レベル 8	FISU 世界大学選手権 ※1位 200p/1-20位に付与
レベル 3	ITU ワールドカップ ※1位 500p/1-50位に付与	レベル 9	ITU 世界ジュニア選手権 ※1位 100p/1-10位に付与
レベル 4	ASTC アジア選手権 ※1位 400p/1-40位に付与	レベル 10	ASTC アジア U23 選手権 ※1位 100p/1-10位
レベル 5	ASTC アジアスプリント選手権 ※1位 300p/1-30位に付与	レベル 11	ASTC アジアジュニア選手権 ※1位 50p/1-10位に付与
レベル 6	ITU 世界 U23 選手権 ※1位 200p/1-20位に付与	特別 ポイント	第22回日本トライアスロン選手権（2016/お台場） ※1位 400p/1-40位に付与

【国内対象大会】

4月30日(土)

ASTCアジアトライアスロン選手権廿日市大会(広島)

5月14日(土)

ITU世界トライアスロンシリーズ横浜大会(神奈川)

6月26日(日)

蒲郡NTT-ASTCトライアスロンアジアカップ(愛知)

7月10日(日)

大阪NTT-ASTCトライアスロンアジアカップ(大阪)

9月25日(日)

村上NTT-ASTCトライアスロンアジアカップ(新潟)

10月9日(日)

第22回日本トライアスロン選手権お台場大会(東京)



<レベル1-11で高ポイントの6大会を加算(10月3日時点)>+
<日本選手権の特別ポイント>=<NTTジャパンランキング決定>

【2】ポイント算出基準と方法

- 1) 2位は1位ポイントから<0.925>を乗じたポイント。3位は2位ポイントから<0.925>を乗じたポイント。以下、順に算出。
- 2) カットオフタイム(トップから女子8%、男子5%でフィニッシュ)採用。
- 3) 最新のITUポイント上位20選手に2%の係数が与えられ、最大20%の係数が大会レベルに反映される。
- 4) レベル7のITUコンチネンタルカップ・プレミアムコンチネンタルカップは最大3大会まで加算。
- 5) ITUが毎週発表する「ITUポイント」の<Current year>ポイント順が最新のジャパンランキングとなる。

【3】大会出場資格の付与と強化費

- 1) 2016年9月26日(月)時点のITUポイント<Current year>上位35名に、第22回日本トライアスロン選手権(2016/お台場)出場資格を付与。
- 2) ジャパンランキング1~5位(予定)にJTU強化費を支給。

歴代NTTトライアスロンジャパンカップチャンピオン

女子	男子
1997 半田 恵理(東京女子体育大学)	小原 工(チームテイケイ)
1998 庭田 清美(シャクリー・NTT・稲毛)	小原 工(チームテイケイ)
1999 細谷はるな(ニデック)ノ 平尾 明子(NTT東日本・NTT西日本)	小原 工(チームテイケイ)
2000 小梅川雪絵(チームテイケイ)	西内 洋行(チームテイケイ)
2001 関根 明子(NTT東日本・NTT西日本)	山本 淳一(シャクリー・稲毛ITC)
2002 中西真知子(NTT東日本・NTT西日本)	西内 洋行(チームテイケイ)
2003 中西真知子(NTT東日本・NTT西日本)	西内 洋行(チームテイケイ)
2004 関根 明子(NTT東日本・NTT西日本)	平野 司(関西大学)
2005 上田 藍(グリーンタワー・稲毛ITC)	細田 雄一(グリーンタワー・稲毛ITC)
2006 中西真知子(NTT東日本・NTT西日本)	杉本 宏樹(チームテイケイ)
2007 関根 明子(NTT東日本・NTT西日本)	山本 良介(トヨタ車体)
2008 佐藤 優香(日本橋女学館高校)	山本 良介(トヨタ車体)
2009 井出 樹里(トシンパートナーズチームケンス)	田山 寛豪(NTT東日本・NTT西日本/流通経済大学職員)
2010 崎本 智子(日本食研)	山本 良介(トヨタ車体)
2011 上田 藍(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター)	細田 雄一(グリーンタワー・稲毛インター)
2012 高橋 侑子(法政大学)	田山 寛豪(NTT東日本・NTT西日本/流通経済大学職員)
2013 上田 藍(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター)	田山 寛豪(NTT東日本・NTT西日本/流通経済大学職員)
2014 上田 藍(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター)	田山 寛豪(NTT東日本・NTT西日本/流通経済大学職員)
2015 上田 藍(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター)	細田 雄一(博慈会)

CHAMPION

歴代日本選手権チャンピオン

ジャパンランキング最終戦の日本トライアスロン選手権で優勝した選手には、日本選手権チャンピオンの称号が与えられる。

女子
1995 小林美智子(チームニコス)
1996 小梅川雪絵(三田工業)
1997 中西真知子(チームNTT)
1998 枇杷田深雪(大阪信愛女学院短大)
1999 小梅川雪絵(チームテイケイ)
2000 小梅川雪絵(チームテイケイ)
2001 関根 明子(NTT東日本・NTT西日本)
2002 中西真知子(NTT東日本・NTT西日本)
2003 庭田 清美(アシックス・ザバス)
2004 関根 明子(NTT東日本・NTT西日本)
2005 庭田 清美(アシックス・ザバス)
2006 庭田 清美(アシックス・ザバス)
2007 上田 藍(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター)
2008 井出 樹里(トシンパートナーズチームケンス)
2009 井出 樹里(トシンパートナーズチームケンス)
2010 崎本 智子(日本食研)
2011 井出 樹里(トシンパートナーズチームケンス)
2012 上田 藍(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター)
2013 上田 藍(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター)
2014 佐藤 優香(トシンパートナーズチームケンス)
2015 上田 藍(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター)

男子
1995 田村 嘉規(西京味噌)
1996 山口 博久(埼玉県連合)
1997 星野 健一(千葉県連合)
1998 星野 健一(千葉県連合)
1999 小原 工(チームテイケイ)
2000 斎藤 大輝(アラコ)
2001 田山 寛豪(流通経済大学)
2002 福井 英郎(シャクリー・稲毛ITC)
2003 西内 洋行(チームテイケイ)
2004 田山 寛豪(チームテイケイ)
2005 平野 司(関西大学)
2006 田山 寛豪(チームテイケイ)
2007 田山 寛豪(チームテイケイ)
2008 田山 寛豪(流通経済大学職員・チームプレイブ)
2009 田山 寛豪(NTT東日本・NTT西日本/流通経済大学職員)
2010 山本 良介(トヨタ車体)
2011 細田 雄一(グリーンタワー・稲毛インター)
2012 田山 寛豪(NTT東日本・NTT西日本/流通経済大学職員)
2013 田山 寛豪(NTT東日本・NTT西日本/流通経済大学職員)
2014 田山 寛豪(NTT東日本・NTT西日本/流通経済大学職員)
2015 古谷 純平(三井住友海上)

※このページの所属名は当時



ITUトライアスロンアジアカップ蒲郡大会



第17回日本ジュニアトライアスロン選手権

JTUジュニアランキング

[1]ポイント算出基準と方法

Sカテゴリー大会1位120ポイント、Aカテゴリー1位100ポイント、Bカテゴリー1位80ポイント、Cカテゴリー1位60ポイントを設定する。全カテゴリー2位以下は、1位のポイントから7.5%ずつ減点する(小数点2ケタ以下は切り捨て)。

総合1位のタイムから男子5%、女子8%以内のタイムでフィニッシュした選手が対象で、U19選手の順位順にポイントを付与する。最大4大会のポイント合計によりJTUジュニアランキングを決める。

[2]年齢区分

日本国籍を有するU19(16～19歳)の2016年度JTU登録会員。年齢は2016年12月31日現在。

[3]対象大会

<Sカテゴリー>※1位120ポイント

9月17日(土)～18日(日)ITU世界ジュニア選手権(コスメル)

<Aカテゴリー>※1位100ポイント

4月29日(金)～30日(土)ASTCアジアジュニア選手権(広島)

7月17日(日)日本U19トライアスロン選手権(長野)

<Bカテゴリー>※1位80ポイント

3月21日(月)アジアジュニア選手権日本代表選考会(宮崎)

7月3日(日)日本スプリントトライアスロン選手権(仙台)

7月10日(日)大阪NTT-ASTCトライアスロンアジアカップ(大阪)

<Cカテゴリー>※1位60ポイント

JTU公式大会(U19)※調整中

ITUジュニア・コンチネンタルカップ※調整中

2015年ジュニアランキング

女子

順位	氏名	所属	JTU登録地	ポイント	合計大会数
1	久保 瑛南	チームケッズ山梨	山梨	353	4
2	中島 帆波	チームケッズ京都	学連	344	4
3	酒井 美有	チームケッズ山梨	愛知	305	5
4	杉原 有紀	チームケッズ山梨	山梨	253	3
5	枝光 美奈	福岡県立大川樟風高校	福岡	216	5
6	瀬賀 楓佳	チームケッズ山梨	山梨	181	3
7	加後 美咲	チームケッズ京都	学連	153	2
8	有蘭 早優	日本大学	学連	134	2
9	松居 智咲	愛知県協会	愛知	123	2
10	潮田 小波	愛知県協会	愛知	89	2
11	飯塚 唯	栃木県協会	栃木	55	1
12	橋本 紗英	京都府協会	京都	51	2
13	大澤 侑愛	山梨県連合	山梨	48	1
14	見形知亜莉	栃木県協会	栃木	40	1
15	前田 乙乃	愛知県協会	愛知	38	1
16	中村 世愛	熊本県連合	熊本	29	1

男子

順位	氏名	所属	JTU登録地	ポイント	合計大会数
1	山本 康貴	チームケッズ京都	学連	280	3
2	仲尾 俊祐	保津川トライアスロン倶楽部	京都	254	3
3	肥後 巧	東海大学	学連	232	3
4	玉崎 稜也	千葉県連合	千葉	123	2
5	青木 威澄	保津川トライアスロン倶楽部	大阪	107	2
6	大久保洋哉	チームケッズ京都	京都	97	2
7	北條 巧	日本体育大学	学連	85	1
8	堀井 亮汰	宇都宮村上塾	栃木	73	2
9	堀田 智也	京都府協会	京都	70	1
10	小原 北斗	鳥取県協会	鳥取	66	2
11	スピノ騎士	保善高校	東京	65	2
12	山崎 向陽	トライアスロンクラブアルファ	愛知	63	2
13	岩本 敏	流通経済大学	学連	62	1
14	小林 慶次	宮城県協会	宮城	54	2
15	昼神 諒	JSS深井	大阪	53	2
16	安松 青葉	茨城県協会	茨城	29	1
17	岩瀬 大周	山梨県連合	山梨	24	1
18	水野泉之介	チームゴーヤー名古屋	愛知	15	1
19	石関 玲於	東京ヴェルディ	神奈川	11	1
20	前田 能宜	愛知県協会	愛知	3	1
21	新村 起丈	東京都連合	東京	2	1

JTUロングディスタンス・ トライアスロン 強化指定対象大会

日本国籍を有する18歳以上(2016年12月31日現在)のJTU登録選手を対象にロングディスタンス強化指定が行われる。認定期間は2016年1月1日から2016年12月31日までの12カ月。

強化S指定

- S-1) ITUロングディスタンス世界選手権5位以内
- S-2) アイアンマン世界選手権ハワイ大会総合10位以内
- S-3) アイアンマン70.3世界選手権5位以内

強化A指定

- A-1) ITUロングディスタンス世界選手権6~10位(40%)
- A-2) アイアンマン世界選手権ハワイ大会総合11~20位
- A-3) 各地アイアンマン大会総合1位(20%)
- A-4) アイアンマン70.3世界選手権総合6~10位(40%)
- A-5) アジアロングディスタンス選手権1位(10%/35%)
- A-6) 日本ロングディスタンス選手権1位(10%/35%)

強化B指定

- B-1) ITUロングディスタンス世界選手権16位以内(40%)
- B-2) アイアンマン世界選手権ハワイ大会総合21~30位
- B-3) 各地アイアンマン大会総合5位以内(25%)
- B-4) アイアンマン70.3世界選手権16位以内(40%)
- B-5) 各地アイアンマン70.3大会3位以内(35%)
- B-6) アイアンマン世界選手権ハワイ大会「プロ」部門出場
- B-7) ITUロングディスタンスシリーズ3位以内(35%)
- B-8) アジアロングディスタンス選手権3位以内(20%/40%)
- B-9) 日本ロングディスタンス選手権3位以内(20%/40%)
- B-10) 佐渡国際トライアスロン大会Aタイプ1位(10%/35%)
- B-11) 五島長崎国際トライアスロン大会Aタイプ1位
- B-12) 五島長崎国際トライアスロン大会Bタイプ1位
- B-13) みやじま国際パワートライアスロン大会エリート部門1位(10%/35%)
- B-14) 全日本トライアスロン宮古島大会3位以内

強化C指定

- C-1) ITUロングディスタンス世界選手権20位以内(45%)
 - C-2) 各地アイアンマン大会総合10位以内(40%)
 - C-3) アイアンマン70.3世界選手権「プロ」の部出場者
 - C-4) 各地アイアンマン70.3大会:総合8位以内(30%/50%)
 - C-5) アジアロングディスタンス選手権8位以内(30%/40%)
 - C-6) 日本ロングディスタンス選手権8位以内(25%/40%)
 - C-7) 佐渡国際トライアスロン大会Aタイプ2~3位
 - C-8) 五島長崎国際トライアスロン大会Aタイプ2~3位
 - C-9) 五島長崎国際トライアスロン大会Bタイプ2~3位
 - C-10) みやじま国際パワートライアスロン大会エリート部門3位以内(20%/25%)
 - C-11) 全日本トライアスロン宮古島大会4~8位
- ※(%)は「順位÷スタート人数」の順位率以内で完走。順位率が二つの場合は(男子/女子)としている。

JTU主催・公認大会

- 6月12日(日)
アイアンマン70.3セントレア知多・常滑ジャパン(愛知)
- 7月3日(日)
第13回日本スプリントトライアスロン選手権(宮城)
- 7月17日(日)
第6回日本U23トライアスロン選手権(長野)
- 9月4日(日)
日本学生トライアスロン選手権(香川)
- 9月10日(土)
第18回全国高校生チャレンジトライアスロン(東京)
- 9月11日(日)
オールキッズトライアスロン大会(東京)
- 10月2日(日)
第70回国民体育大会/2016希望郷いわて国体
トライアスロン競技(岩手)
- 10月29日(土)
ITUトライアスロンワールドカップ(2016/宮崎)
- 11月6日(日)
第16回日本デュアスロン選手権(福島)

※JTU主催・共催大会の一部。全大会はJTUホームページ「JTU主催・共催・公認大会」を参照

ITUトライアスロンアジアカップ村上大会

第21回日本トライアスロン選手権東京港大会





レースを楽しみ、 世界を目指す

Age Group Point Ranking



2016JTUエイジグループポイントランキング
2016JTUロングディスタンスエイジランキング

JTUエイジグループポイントランキングおよびJTUロングディスタンスエイジランキングは、エイジグループのレースに参加する選手を対象としたランキング制度。各年代別の優勝者や上位選手には世界選手権への公費派遣や出場権が与えられる。2015年のエイジグループ年代別優勝者は、9月18日(日)に行われるITU世界エイジグループトライアスロン選手権コスメル大会へ日本代表として公費派遣される。

今年はエイジグループ27大会、ロングディスタンス6大会8部門がランキング対象となっており、最大4大会(スタンダード)、最大2大会(ロングディスタンス)の獲得ポイントが有効となる。

エイジグループのレースは年々参加者が増え、盛り上がりを見せている。フィニッシュ後にお互いを称え合い、笑顔で握手

を交わす姿が多く見られるのもエイジグループレースの特長の一つだ。ランキング上位入賞を目標に設定する選手が増えるなど、エイジランキングはますます注目を集めている。

対象選手の資格と特別事項 (エイジ・ロングディスタンス共通)

1. 2016年1月1日～9月30日にトライアスロンのJTU強化指定(51.5Kmエリート、ジュニア、ロングディスタンス)を受けていない選手で、当該大会のエイジグループ部門出場者を対象とする。なお、デュアスロン強化指定選手はエイジランキングの対象とするが、所属表示は加盟団体のみとする。
2. 上記期間中にJTU強化指定(51.5Kmエリート、ジュニア、ロングディスタンス)を受けた場合は対象外とする。ただし、指



第4回愛南町いやしの郷トライアスロン大会



第30回長良川国際トライアスロン大会

定前に獲得したポイントは有効とする(繰り下げポイントは付加しない)。なお、期間内に強化指定を外れた選手は対象としない。また強化指定選手になる可能性がある選手でエイジランキング上位を狙う場合は、JTU事務局へ事前の申請を行うこととする。

3. 最終戦終了後1位が同ポイントの場合のみ以下の順で順位を決定する(シーズン中は同順位とする)。

- a) 出場大会(ポイントを獲得した全大会)数が多い選手
- b) 高順位獲得数の多い選手(1位1大会と3位2大会は、3位3大会より上位)
- c) 出場大会(ポイント対象大会4大会)の該当カテゴリーの完走者数合計が多い選手

4. 対象大会で年間2回以上の失格処分を受けた選手は、対象から除外することがある。

特典

<エイジグループ>

年間各年代別優勝者には2017年ITU世界エイジグループトライアスロン選手権(オランダ)への公費派遣特典を授与。各年代別10位までには、2017年アジアエイジグループ選手権、2017年ITU世界エイジグループトライアスロン選手権(オランダ)への出場権を授与。

<ロングディスタンス>

年代別各上位の選手に2017年アジアロングディスタンストライアスロン選手権、2017年世界ロングディスタンストライアスロン選手権への出場権を授与。

JTUエイジグループポイントランキング

対象大会(2016年2月29日現在)



- 1 4月10日(日) 石垣島トライアスロン大会(沖縄県)
- 2 5月1日(日) アジアトライアスロン選手権廿日市大会(広島県)
- 3 5月15日(日) ITU世界トライアスロンシリーズ横浜大会(神奈川県)
- 4 5月22日(日) 南紀白浜トライアスロン大会(和歌山県)
- 5 5月22日(日) 天草宝島国際トライアスロン大会(熊本県)
- 6 5月29日(日) 潮来トライアスロン大会(茨城県)
- 7 6月4日(土) 愛南町いやしの郷トライアスロン大会(愛媛県)
- 8 6月12日(日) みなと酒田トライアスロンおしんレース(山形県)
- 9 6月19日(日) びわ湖トライアスロンin近江八幡(滋賀県)
- 10 6月19日(日) ハワイトライアスロンin湯梨浜大会(鳥取県)
- 11 6月19日(日) 東京都トライアスロン渡良瀬大会(群馬県)
- 12 6月26日(日) 蒲郡オレンジトライアスロン(愛知県)
- 13 7月3日(日) みやぎ国際トライアスロン仙台ベイベー七ヶ浜大会(宮城県)
- 14 7月3日(日) 館山わかしおトライアスロン大会(千葉県)
- 15 7月3日(日) サンポート高松トライアスロン(香川県)
- 16 7月10日(日) 大阪トライアスロン舞洲大会(大阪府)
- 17 7月10日(日) 宮崎シーガイアトライアスロン(宮崎県)
- 18 7月17日(日) 野尻湖トライアスロンin信州信濃町(長野県)
- 19 7月17日(日) ひわさうみがめトライアスロン(徳島県)
- 20 7月31日(日) 長良川国際トライアスロン大会(岐阜県)
- 21 7月31日(日) いきいき富山トライアスロン大会(富山県)
- 22 8月7日(日) 大雪山忠別湖トライアスロンin東川(北海道)
- 23 8月21日(日) うつくしまトライアスロンinあいづ大会(福島県)
- 24 8月28日(日) 京都丹波トライアスロン大会in南丹(京都府)
- 25 9月11日(日) しまなみ海道トライアスロン大会in尾道(広島県)
- 26 9月25日(日) 村上・笹川流れ国際トライアスロン大会(新潟県)
- 27 10月30日(日) ITUトライアスロンワールドカップ宮崎(エイジ)(宮崎県)

JTUロングディスタンスエイジランキング

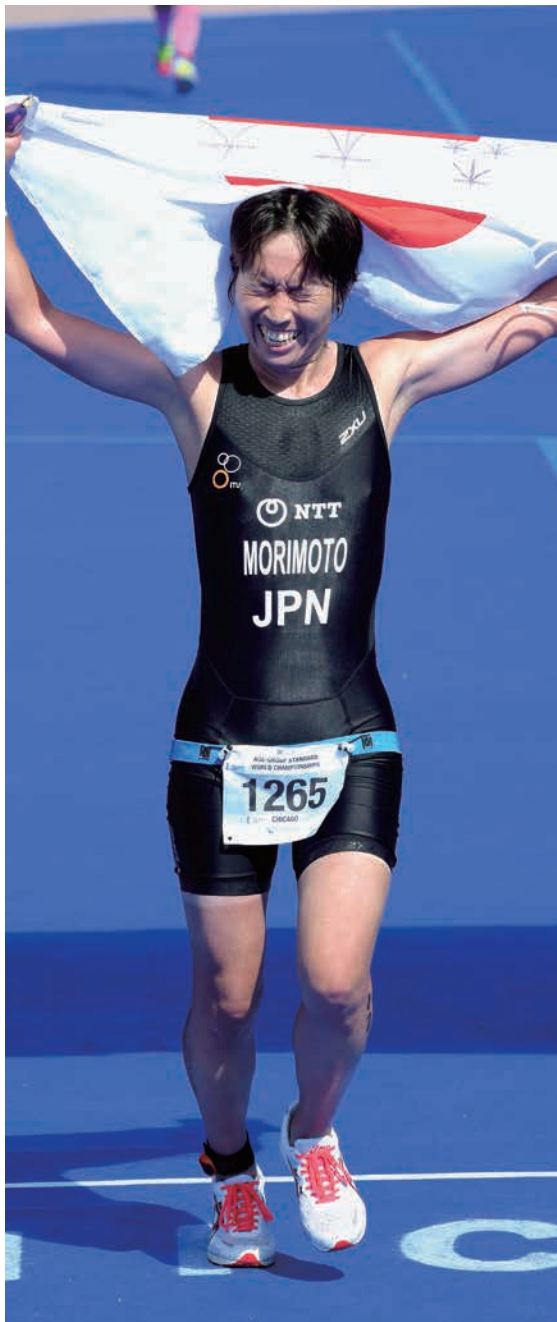
対象大会(2016年4月4日現在)



- (1) 200km以上
 - 1 6月19日(日) 五島長崎国際トライアスロン(225.8km)(長崎県)
 - 2 9月4日(日) 佐渡国際トライアスロン大会A(235.8km)(新潟県)
- (2) 70~199km以下※設定詳細はJTU判断とする
 - 3 5月22日(日) 長良川ミドルトライアスロンinアクアフィールド102(102km)(岐阜県)
 - 4 6月12日(日) アイアンマン70.3セントレア知多常滑(113km)(愛知県)
 - 5 6月19日(日) 五島長崎国際トライアスロン(154km)(長崎県)
 - 6 7月3日(日) はつかいち縦断みやじま国際パワートトライアスロン大会(77.5km)(広島県)
 - 7 9月4日(日) 佐渡国際トライアスロン大会B(127km)(新潟県)
 - 8 9月11日(日) 伊良湖トライアスロン大会A(91.25km)(愛知県)



ITU世界トライアスロンシリーズグランドファイナルシカゴ大会



ITU世界トライアスロンシリーズグランドファイナルシカゴ大会

Age Group Point Ranking



【エイジグループ】

各年代別部門女子 ベスト3

カテゴリー	氏名	年齢(歳)	登録地	合計 ポイント	出場 大会数
24歳以下	1位 佐野 花夏	21	学連	56	4
	2位 白方 冬美	23	秋田	27	2
	3位 葉師かれん	22	学連	25	2
25-29歳	1位 山内 麻代	29	広島	50	4
	2位 倉内 千紘	26	愛知	42	3
	2位 矢都木靖子	27	東京	42	3
30-34歳	1位 伊藤あすみ	31	和歌山	40	4
	2位 河野美美子	33	神奈川	39	3
	3位 村上 友梨	34	奈良	35	3
35-39歳	1位 中島 聖子	36	兵庫	57	5
	2位 高間佐知子	39	愛知	52	5
	3位 佐藤真希子	38	富山	44	4
40-44歳	1位 松本 華奈	42	島根	55	6
	2位 平松 智子	41	愛知	55	5
	3位 植条 広子	41	三重	34	3
45-49歳	1位 小原 千絵	48	鳥取	57	5
	2位 川谷 陽子	45	愛知	54	5
	3位 山澤 洋子	47	東京	53	5
50-54歳	1位 一村多美代	53	熊本	58	4
	2位 政田 由紀	54	大阪	53	5
	3位 寺田 香織	53	東京	51	4
55-59歳	1位 藤井真由美	55	愛知	55	7
	2位 高橋登美子	55	千葉	47	5
	3位 小林真由美	58	東京	44	4
60-64歳	1位 宮内 昌子	60	東京	58	7
	2位 小川 好子	61	岡山	55	4
	3位 宗田恵世子	64	東京	50	6
65-69歳	1位 三田 伸子	69	広島	58	7
	2位 松田喜美子	67	大阪	55	4
	3位 川崎 綾子	69	千葉	34	3
70-74歳	1位 森 祥子	72	徳島	14	1
	2位 北岡香代子	70	福岡	14	1

各年代別部門男子 ベスト3

カテゴリー	氏名	年齢(歳)	登録地	合計 ポイント	出場 大会数
24歳以下	1位 井戸 皓大	24	大阪	33	3
	2位 井辺 弘貴	20	福岡	28	2
	2位 福井 貴弘	22	広島	28	3
25-29歳	1位 栗原 正明	28	山梨	57	6
	2位 齊藤 剛司	29	愛知	54	6
	3位 川久保直希	26	奈良	47	5
30-34歳	1位 杉山 太一	31	静岡	54	4
	2位 藤井 雅之	30	岐阜	44	6
	2位 駒野 悠太	33	神奈川	44	5
35-39歳	1位 島田 敦史	35	栃木	55	4
	2位 北原 秀樹	37	福岡	51	4
	3位 下野 善弘	38	神奈川	47	4
40-44歳	1位 疋田 浩気	43	静岡	58	4
	2位 福元 哲郎	43	広島	57	7
	3位 今枝 誠	42	愛知	46	4
45-49歳	1位 森下 泰秀	48	三重	58	6
	2位 白井 克昌	45	鹿児島	55	5
	3位 石井 克利	45	東京	45	4
50-54歳	1位 田中 悟	51	三重	57	4
	2位 三須 秀明	52	東京	54	5
	3位 小川 幸一	51	神奈川	47	5
55-59歳	1位 河村 政勝	55	山口	56	4
	2位 ShrosbreeMark	55	神奈川	55	6
	3位 柘植 孝之	55	愛知	48	6
60-64歳	3位 椎名 克行	56	新潟	48	5
	1位 長谷川正哉	62	千葉	55	6
	2位 横田 浩昌	61	千葉	54	5
65-69歳	3位 川崎 潔	62	大阪	53	6
	1位 揖場 裕	65	兵庫	58	6
	2位 山本 文忠	66	千葉	55	5
70-74歳	3位 村中 信一	67	岡山	49	5
	1位 岩本 俊信	73	東京	57	4
	2位 神谷 進五	73	愛知	56	6
75-79歳	3位 大島 強	72	愛知	50	4
	1位 田中 國宣	77	熊本	50	4
	2位 館本 義勝	75	大阪	38	3
80歳以上	3位 谷口 功	75	京都	29	2
	1位 齋藤 健	80	新潟	58	4
	2位 高木 喜則	80	福岡	14	1

【ロングディスタンス】

各年代別部門女子 ベスト3

カテゴリー	氏名	年齢(歳)	登録地	合計 ポイント	出場 大会数
24歳以下	1位 谷上 礼佳	20	東京	15	1
	2位 芦川 紘子	24	東京	14	1
	3位 一本松静香	22	埼玉	13	1
25-29歳	1位 藤井 智子	28	兵庫	19	2
	2位 日高 果織	28	神奈川	14	1
	3位 川崎由理奈	29	東京	13	1
30-34歳	1位 渡辺 莉恵	34	大阪	21	2
	2位 小林 千枝	32	東京	17	2
	3位 保戸塚 梢	32	神奈川	15	1
35-39歳	1位 小川 陽子	35	東京	20	2
	2位 伊藤 尚代	38	愛知	17	2
	3位 黒田 悠子	37	東京	16	2
40-44歳	1位 小林 恵	43	山形	28	2
	2位 松尾由樹恵	41	兵庫	25	3
	3位 上原 穂子	40	東京	15	1
45-49歳	1位 天方 美和	45	東京	25	2
	2位 奥田 智美	45	三重	24	2
	2位 野口 佳子	45	東京	24	2
50-54歳	1位 川上 雅子	51	長野	26	2
	2位 寺田 香織	53	東京	21	2
	3位 鹿野 美保	52	愛知	19	2
55-59歳	1位 西坂 桂子	57	東京	21	2
	2位 小林 浩代	55	北海道	18	2
	3位 佐藤 妙子	56	愛知	15	1
60-64歳	1位 小澤 満子	62	埼玉	17	2
	2位 小川 好子	61	岡山	15	1
	3位 福田百合子	64	熊本	14	1
65-69歳	1位 川崎 綾子	69	千葉	13	1
	2位 白石えり子	65	新潟	13	1
	3位 野澤 久子	66	埼玉	10	1

各年代別部門男子 ベスト3

カテゴリー	氏名	年齢(歳)	登録地	合計 ポイント	出場 大会数
24歳以下	1位 佐相 宏明	21	東京	27	2
	2位 岸野 巧	24	神奈川	22	4
	3位 山岸 翔一	23	神奈川	19	2
25-29歳	1位 石橋 健志	26	大阪	26	2
	2位 片山 草太	26	大阪	24	3
	3位 安田 一行	29	神奈川	22	2
30-34歳	1位 丸田 聡	33	神奈川	24	4
	2位 藤井 雅之	30	岐阜	22	2
	3位 中館 淳哉	30	東京	16	2
35-39歳	1位 渡邊 靖之	37	長野	25	3
	2位 三田 博史	38	兵庫	22	2
	3位 宗平 裕	36	大阪	19	2
40-44歳	1位 Gwenaél Touchais	40	東京	25	2
	2位 関 伸介	41	新潟	20	2
	3位 武田 英明	44	兵庫	15	2
45-49歳	1位 藤田 裕行	47	静岡	20	2
	2位 岩原 将文	48	東京	19	3
	3位 野口 泰	45	東京	17	2
50-54歳	1位 富岡 敏憲	53	広島	23	4
	2位 石田 力	50	神奈川	15	1
	3位 田中 明彦	50	三重	14	1
55-59歳	1位 今井 邦博	55	大阪	27	2
	2位 藤城 健	55	愛知	20	2
	3位 山室 和也	56	東京	14	1
60-64歳	3位 加藤 幸司	55	茨城	14	2
	3位 小川 均	57	栃木	14	1
	1位 吉川 直人	60	東京	25	2
65-69歳	2位 川崎 潔	62	大阪	24	2
	3位 石飛 肇	61	兵庫	21	3
	1位 三宅 光章	66	愛知	24	2
70-74歳	2位 石原 哲	65	埼玉	15	1
	3位 瀬戸 勉	65	大阪	14	1
	1位 木下 元	71	千葉	25	2
75-79歳	2位 浜口 辰雄	71	茨城	15	1
	3位 中川 隆二	71	兵庫	14	1
	3位 人見 光義	72	神奈川	14	1
80歳以上	1位 西村 詮幸	75	静岡	23	2
	2位 小林 達雄	75	愛知	13	1
	3位 阪本 一雄	79	大阪	12	1
1位 稲田 弘	83	千葉	13	1	

委員長コメント

エイジグループ普及に向けて

エイジグループ普及委員会 委員長 斎藤大輝(愛知)

エイジグループポイントランキング対象大会が27大会(2015年は21大会)になり、今年も全国で年代別チャンピオンを目指す戦いが繰り広げられます。日の丸を胸にアジア、世界に挑戦するアスリートも増え、トライアスロンを通じた国際交流が盛んになってきました。

その一方初心者も多くなっていますので、トライアスロンをより安全に楽しんでいただけるよう、競技の特性やルールの理解、マナー向上に取り組んでいきます。

さらにロングディスタンス、デュアスロン、アクアスロン、ウィンター、クロスなどの魅力も伝えていきたいと思っています。

高校生普及委員会 委員長 園川峰紀(千葉)

高校生普及委員会は、2023年度以降に開催のインターハイ参画を最大目標として2015年夏からスタートしました。中高年アスリートの年代層が厚く、若手選手層が極端に少ないなかで、将来のトライアスロン界を担う中高生アスリートの発掘・育成が喫緊の課題です。

そのために、いままで高校生アスリートが参加できる大会の調査、学校関係者、特にトライアスロンを実際にやっている教職員調査等の基礎データ収集を行ってきました。またJTUホームページに高校生向け情報発信基地としてのページを立ち上げることや、高校生が参加しやすい環境づくり(参加費減額、表彰カテゴリー常設、高校生ポイントランキング等)を計画しています。

女子委員会 委員長 石井なおみ(千葉)

女子委員会は、スポーツの世界で活動する女性をサポートすることを目的としています。女性の悩みに対するアドバイスや、他競技団体の女性部会との関係を築くなど、女性が活躍できる機会を増やすための活動が主となります。さらにジェンダーにかかわることや盗撮などの問題への取り組みも継続して行っています。

また、今後各地の大会などで性同一性障害の方への対応等が出てくるのが考えられますので、メディカル委員会、倫理委員会などとも調整しながら見解をまとめていきたいと考えています。

今年は特に、各都道府県加盟団体の女性に関する委員会の設置を働きかけることを課題としています。

ビジネスで差をつけるなら、強い味方を選びましょう。



あなたの仕事に、高画質のチカラを。

写真も文字も、あざやかに美しく。ハイクオリティな高画質プリントの説得力を、あなたのビジネスにお役立てください。出力解像度1,200×2,400dpiをはじめ、優れた品質と機能性をリーズナブルな価格で実現したDocuCentre SC2021。手軽に使いこなせるフルカラーデジタルA3複合機です。



DocuCentre SC2021

富士ゼロックス株式会社 www.fujixerox.co.jp/ 〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3
ご意見、ご相談などはお客様相談センターへ。0120-27-4100 | 受付時間 9:00~12:00 / 13:00~17:00 (土・日・祝除く)
Xerox、Xeroxロゴ、および Fuji Xeroxロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。


FUJI xerox 



asics

WANT IT MORE





エンタメの種を
まいています。

LIFE IS ENTERTAINMENT!

 SEGA-SAMMY
GROUP

翼は、夢を見る。

勝利を夢見て、ひたすら努力するアスリートたち。
彼らの頑張り、汗が、涙がスポーツの魅力となって輝く。
勝敗をこえた感動を、私たちに与えてくれる。
彼らのさらなる飛躍を願い、
JALはスポーツの夢を応援します。

日本航空は、リオデジャネイロ2016
オリンピック・パラリンピック
日本代表選手団の
オフィシャルエアライン
パートナーです。



博慈会グループは
トライアスロン
を応援しています

すべては地域医療のため、グループが一体となり邁進してまいります



厚生労働省臨床研修病院 東京都災害拠点病院

博慈会記念総合病院

附属 健康管理センター 附属 脊椎センター
附属 老人病研究所 附属 人工関節センター

東京都足立区鹿浜 5-11-1

Tel 03-3899-1311 Fax 03-3855-2851

URL <http://www.hakujikai.or.jp> E-mail : info@hakujikai.or.jp

完全型療養病床・回復期リハビリテーション病棟
長寿リハビリセンター病院

東京都足立区鹿浜 5-13-7

腎臓内科・人工透析

博慈会腎クリニック

東京都足立区鹿浜 5-5-18

看護師養成校

博慈会高等看護学院

東京都足立区鹿浜 2-1-15

医療法人社団 健康増進会

博慈会田園クリニック

東京都足立区舎人 2-19-18

博慈会記念総合病院 別館



博慈会記念総合病院 本館



長寿リハビリセンター病院



田園クリニック



腎クリニック



高等看護学院



BRIDGESTONE

あなたと、つぎの景色へ



AI UEDA, 2015 ITU WORLD TRIATHLON SERIES, YOKOHAMA

日本最強となった、その理由

ITUワールドカップ優勝、全日本チャンピオンとシリーズチャンピオン獲得。名実ともに日本最強となった昨シーズンの上田藍には、それだけの理由があった。泳力を強化し先頭とのタイム差を最小限にした。バイクパートでは自ら集団を作って先頭を追い、巻き返した。走りのフォームを修正し、磨きかけたランで勝負に出て、勝利した。アンカーは上田をバイクパートで加速させ、得意のランへと送り出す、その役割を誇りに思う。

ANCHOR

ブリヂストンサイクル株式会社

●専用カタログご希望の方は¥200切手を同封の上、郵送にてお申し込みください。

〒362-8520 埼玉県上尾市中裏3-1-1 ブリヂストンサイクル(株) アンカー販売部 販売課 TEL. 048-772-5334

www.anchor-bikes.com



JTUトライアスロン強化対策 オリンピックで目標を達成するために

遂に今年、リオデジャネイロで第31回夏季オリンピック競技大会／
第15回夏季パラリンピック競技大会が開催される。オリンピックでの女子入賞、男子12位以内という目標達成のため、
そして2020年に東京で開催される第32回夏季オリンピック競技大会／第16回夏季パラリンピック競技大会に
つなげるため、今年もJTUでは選手の育成・強化を実施していく。

ITU世界トライアスロンシリーズ横浜大会



2016年JTUトライアスロン・エリート強化指定選手制度

対象選手と認定期間

日本国籍を有する16歳以上(2016年12月31日現在)のJTU登録選手。期間は2015年12月1日から2016年11月末日。

認定内容と承認手順

「JTUエリート強化オリンピックO(1~5)指定選手、JTUエリート強化A(1~7)指定選手、JTUエリート強化B(1~11)指定選手」を四半期(3カ月)ごとに選考し、理事会承認により認定する。評価にあたっては、レース展開上の諸条件や抗議・上訴などの結果を考慮する場合がある。なお、各対象大会で資格の取得・昇格があった場合は、次の大会参加を優先に進めるため、新規資格の即時適用を基本とする。

対象トライアスロン大会・記録会(カッコ内は略称)

- 1) ITU世界トライアスロンシリーズ(WTS)
- 2) ITUトライアスロン・ワールドカップ(W杯)
- 3) ITUトライアスロン世界U23選手権(世界U23選手権)
- 4) ITUトライアスロン世界ジュニア選手権(世界ジュニア選手権)
- 5) ITUトライアスロン・コンチネンタルカップ(C杯)
- 6) ASTCトライアスロンアジア選手権(アジア選手権)
- 7) ASTCトライアスロンアジアU23選手権(アジアU23選手権)
- 8) ASTCトライアスロンアジアジュニア選手権(アジアジュニア選手権)
- 9) 日本トライアスロン選手権(日本選手権)
- 10) JTU公式大会、国民体育大会、日本スプリント選手権、日本U23選手権、日本U19選手権(公式大会)
- 11) JTU認定記録会(認定記録会)

JTU強化指定への資格等の授与(詳細は別基準・規定)

- 1) JOCオリンピック強化指定選手への選考資格(6名以内基本)
- 2) ITU世界トライアスロンシリーズ、ワールドカップ、コンチネンタルカップの出場資格(派遣基準)は別規定
- 3) JTU公式大会(国体、日本選手権、日本U23・U19選手権を除く)出場資格
- 4) 大会主催者招待枠の優先出場資格
- 5) 強化合宿(国内・海外)への参加資格(別規定)
- 6) 強化全般の各種支援

補則

- 1) 「JOC派遣の国際総合大会」の評価は別に審議し決定する
- 2) 「世界トライアスロンシリーズランキング」の評価は別に審議し決定する
- 3) 「順位率」の記載がないランクは出場人数により評価する
- 4) 派遣規定(ユニフォーム含む)は別に定める
- 5) 荒天や災害などにより距離・種目が変更された場合、レース中の予期せぬ事故や上位選手の失格などで順位繰り上げがあった場合は、オリンピック対策チームで審議し評価を決定する

2016年JTUトライアスロン・ジュニア強化指定選手制度

対象選手と認定期間

日本国籍を有する12-19歳(2016年12月31日現在)のJTU登録選手。期間は2015年12月1日から2016年11月末日。

認定内容と承認手順

「JTUジュニア強化S(1~7)指定選手、A(1~11)指定選手、B(1~8)指定選手、C(1~5)指定選手、D(1~3)指定選手、E(1~3)指定選手」を四半期(3カ月)ごとに選考し、理事会承認により認定する。評価にあたっては、レース展開上の諸条件や抗議・上訴などの結果を考慮する場合がある。なお、各対象大会で資格の取得・昇格があった場合は、次の大会参加を優先に進めるため、新規資格の即時適用を基本とする。

対象トライアスロン大会・記録会(カッコ内は略称)

- 1) ITU世界トライアスロンシリーズ(WTS)
- 2) ITUトライアスロン・ワールドカップ(W杯)
- 3) ITUトライアスロン世界U23選手権(世界U23選手権)
- 4) ITUトライアスロン世界ジュニア選手権(世界ジュニア選手権)
- 5) ITUトライアスロン・コンチネンタルカップ(C杯)
- 6) ASTCトライアスロンアジア選手権(アジア選手権)
- 7) ASTCトライアスロンアジアU23選手権(アジアU23選手権)
- 8) ASTCトライアスロンアジアジュニア選手権(アジアジュニア選手権)
- 9) 日本トライアスロン選手権(日本選手権)
- 10) JTU公式大会、国民体育大会、日本スプリント選手権、日本U23選手権、日本U19選手権(公式大会)
- 11) JTU主催大会でU19/U15カテゴリーを設定している大会(公式大会(U19/U15))
- 12) 日本学生トライアスロン選手権(日本学生選手権)
- 13) JTU認定記録会(認定記録会)

参加資格の授与<対象ランク(派遣は別規定)>

- 1) コンチネンタルカップ<S・A/16-17歳はスプリントディスタンス(SD)のみ>
- 2) ジャパンカップ<S・A・B・C/16-17歳はSDのみ>
- 3) JTU公式大会(U19)<S・A・B・C>
- 4) 日本U23選手権<S・A・B・C/18歳以上>
- 5) 日本U19選手権<S・A・B・C>
- 6) 日本U15選手権<D・E>
- 7) U23強化合宿<別規定>
- 8) U19強化合宿<別規定>
- 9) U15強化合宿<D・E>
- 10) ITUジュニア・コンチネンタルカップ<S・A・B・C/16-17歳はSDのみ>

備考

- 1) 「JOC派遣の国際総合大会」の評価は別に審議する
- 2) 「順位率」の記載がないランクは出場人数により評価する
- 3) 派遣規定(ユニフォーム含む)は別に定める
- 4) 荒天や災害などにより距離・種目の変更された場合、レース中の予期せぬ事故や上位選手の失格などで順位繰り上げがあった場合は、オリンピック対策チームで審議し評価を決定する



ITU世界トライアスロンシリーズグランドファイナルシカゴ大会

2016年度JTUオリンピック 対策チーム・事業計画(案)

エリート強化

- 1) エリート強化O指定選手活動(補助金)(通年)
- 2) 第1回ナショナルチーム合宿(長野)(5月1日(日)~5月10日(火))
- 3) 第2回ナショナルチーム合宿(味の素NTC・JISS)(5月19日(木)~5月21日(土))
- 4-1) ヨーロッパ遠征合宿(リーズ、キッツビュール、ストックホルム、ティサ、ハンブルグ)(6月8日(水)~7月19日(火))
- 4-2) リオ対策合宿(個別、希望場所)(6月8日(水)~7月19日(火))
- 5) リオ対策合宿(個別、希望場所)(7月19日(火)~8月12日(金))
- 6) パンアメリカ遠征(メキシコシティ・コズメル・サリナス)(8月29日(月)~9月29日(木))
- 7) 第3回ナショナルチーム合宿(宮崎)(10月11日(火)~10月27日(木))
- 8) 第4回ナショナルチーム合宿(味の素NTC・JISS)(11月28日(月)~12月1日(木))
- 9) 第5回ナショナルチーム合宿(宮崎)(2017年1月9日(月・祝)~1月23日(月))

次世代強化

- 1) ジュニア強化指定選手およびJSCタレント選手・個別合宿(通年)
- 2) 第1回U15合宿(岐阜)(7月31日(日)~8月4日(木))
- 3) 第1回U23強化合宿(長野)(8月18日(木)~8月26日(金))
- 4) ニュージーランド遠征(12月10日(土)~12月20日(火))
- 5) 第2回U23強化合宿(味の素NTC・JISS・宮崎)(12月21日(水)~28日(水))

- 6) 第2回U15合宿(未定)(12月25日(日)~12月28日(水))
- 7) 第3回U23強化合宿(宮崎)(2017年3月22日(水)~3月27日(月))

JTUトライアスロンアカデミー プロジェクト

「JTUトライアスロン・タレント発掘プロジェクト」(一貫指導システム、全国強化拠点、スカウティング)の事業として、次世代のタレントを発掘して「アカデミー選手」に認定し特別な育成・強化を実施していく。





第17回日本ジュニアトライアスロン選手権

サポート

- 1) JTU強化拠点での特別プログラム提供
- 2) 合宿費・遠征費などの活動支援
- 3) 学業・生活拠点などの活動サポート
- 4) バイクなど機材の提供
- 5) その他、特別強化に関わる諸事業の展開

認定基準

対象

日本国籍を有する16-19歳(2016年12月31日現在)のJTU登録選手

審査

- ・アカデミー選考記録会(スイム400m、ラン3,000m)
- ・適正診断
- ・面接(本人)
- ・最終選考 最終面接(本人・保護者)

期間

認定開始日から20歳(該当年12月31日現在)になるまで

支援

当該選手の活動するJTU強化拠点(アカデミー拠点のみ)での支援を行う。

- 1) JTUエリート強化A指定選手：四半期/1名
- 2) JTUエリート強化B指定選手：四半期/1名
- 3) JTUアカデミー選手：四半期/1名



ASTCアジアトライアスロン選手権ニュータイペイ大会

マネージャー・委員長コメント

オリンピック対策チーム

マネージャー山根英紀(千葉)

2016年シーズンはオリンピックイヤーとなるため、掲げた目標(女子入賞、男子12位以内)を達成するために必要な強化策を講じ、選手がスタートラインに立ったとき、「すべての準備ができた」と自信を持てるよう、万全の準備をしていきます。

そして、JTU役員、スタッフ、スポンサーはもとより、日本オリンピック委員会(JOC)や日本スポーツ振興センター(JSC)など関係各位の総力を結集してリオデジャネイロに向かい、さらにその流れを2020年の東京まで繋げていきたいと考えています。

また、世界トライアスロンシリーズでは、グランドファイナルのコスメルまでの9戦を戦い、女子6位以内、男子12位以内の目標を達成し、2020年の女子メダル獲得、男子入賞という目標達成につながるよう効果的な派遣を行っていきます。

次世代育成強化委員会

委員長 中山俊行(神奈川)

次世代育成強化は次の大きな三つの目標が掲げられます。一つ目が第32回夏季オリンピック競技大会(2020/東京)に向けての強化。二つ目がそれ以降に向けた強化。三つ目がトップ指導者の育成です。

現在、エリートで戦う選手に対抗できる若手選手の育成・強化が2020年に向けた強化の軸となります。年齢やポイントシステムの状況から、2020年に向けて活動が可能な選手は数名に絞られます。その絞られた選手たちをいかに世界レベルにまで育成していくかを念頭に、出場レースの選定や強化合宿の開催などで支えています。

同時にその次の世代の育成も重要となります。教育に重点を置きながら4年後には世界を舞台に戦える心身の強さを習得させる必要があります。

これを達成できるかについては、三つ目の指導者育成が大きく影響してきます。



第21回日本トライアスロン選手権東京港大会

2016年世界主要大会

近年、ITU世界トライアスロンシリーズがテレビ放映されるなど、海外のレースが注目を集めている。世界各国で開催されるレースは、海外選手との激しいレース展開はもちろん、景色や食事などレース以外でも楽しみが多い。近年はエリート選手のみならずエイジグループ選手やパラトライアスロン選手も世界の舞台に挑み、結果を残している。

ITU世界トライアスロンシリーズ(WTS)

- 3月4日(金)、5日(土) アブダビ大会(アラブ首長国連邦) (51.5km)
- 4月9日(土)、10日(日) ゴールドコースト大会(オーストラリア) (51.5km)
- 4月23日(土)、24日(日) ケープタウン大会(南アフリカ) (25.75km)
- 5月14日(土)、15日(日) 横浜大会(日本) (51.5km)
- 6月11日(土)、12日(日) リーズ大会(イギリス) (51.5km)
- 7月2日(土)、3日(日) ストックホルム大会(スウェーデン) (51.5km)
- 7月16日(土)、17日(日) ハンブルク大会(ドイツ) (51.5km)
- 9月3日(土)、4日(日) エドモントン大会(カナダ) (51.5km)
- 9月17日(土)、18日(日) グランドファイナル(GF)コスメル大会(メキシコ) (51.5km)

ITU世界U23選手権(51.5km)

- 9月16日(金)、17日(土)コスメル大会(メキシコ)

ITU世界ジュニア選手権(25.75km)

- 9月16日(金)コスメル大会(メキシコ)

ITU世界選手権

- 2月13日(土)、14日(日)
- ITU世界ウィンタートライアスロン選手権(オーストリア・ツェルトベク)
- 6月4日(土)、5日(日)
- ITU世界デュアスロン選手権(スペイン・アビレス)
- 7月16日(土)、17日(日)
- ITU世界ミックスリレートトライアスロン選手権(ドイツ・ハンブルク)
- 7月23日(土)、24日(日)
- ITU世界パラトライアスロン選手権(オランダ・ロッテルダム)
- 9月4日(日)
- ITUパワーマン・ロングディスタンスデュアスロン世界選手権(スイス・ツォフィンゲン)
- 9月14日(水)
- ITU世界アクアスロン選手権(メキシコ・コスメル)
- 9月15日(木)
- ITU世界エイジグループスプリントディスタンストライアスロン選手権(メキシコ・コスメル)
- 9月18日(日)
- ITU世界エイジグループトライアスロン選手権(メキシコ・コスメル)
- 9月24日(土)、25日(日)
- ITU世界ロングディスタンストライアスロン選手権(アメリカ・オクラホマ)
- 11月19日(土)、20日(日)
- ITU世界クロストライアスロン選手権(オーストラリア・スノーウィー・マウンテンズ)

ITUワールドカップ

- 3月12日(土)、13日(日) ムールラバ大会(オーストラリア) (25.75km)
- 4月2日(土)、3日(日) ニュープリマス大会(ニュージーランド) (25.75km)
- 4月16日(土)、17日(日) チョウトゥー大会(中国) (51.5km)
- 5月7日(土)、8日(日) カリアリ大会(イタリア) (25.75km)

- 5月7日(土)、8日(日) ウェットウルコ大会(メキシコ) (51.5km)
- 6月18日(土)、19日(日) キッツビュール大会(オーストリア)
- 7月9日(土)、10日(日) ティサウィパローシュ大会(ハンガリー) (25.75km)
- 8月6日(土)、7日(日) モントリオール大会(カナダ) (25.75km)
- 9月24日(土)、25日(日) サリナス大会(エクアドル) (25.75km)
- 10月22日(土)、23日(日) トンヨン大会(韓国) (25.75km)
- 10月29日(土)、30日(日) 宮崎大会(日本) (51.5km)

ASTCアジア選手権

- 4月16日(土)、17日(日)南アジアトライアスロン選手権(ネパール・ポカラ)
- 4月29日(金・祝)~5月1日(日) 甘日市大会(日本)
- 11月19日(土)、20日(日)西アジアトライアスロン選手権(ヨルダン・アカバ)

NTT-ASTCアジアカップ

- 4月16日(土)、17日(日)スービックベイ大会(フィリピン)
- 5月7日(土)タイチョウ大会(中国)
- 5月13日(金)~15日(日)ブラベイ大会(カザフスタン)
- 6月5日(日)ニュータイバイ大会(チャイニーズ・香港)
- 6月26日(日)蒲郡大会(日本)
- 7月1日(金)~3日(日)コクシェタウ大会(カザフスタン)
- 7月10日(日)大阪大会(日本)
- 7月16日(土)、17日(日)シンガポール大会
- 8月27日(土)、28日(日)バリアマン大会(インドネシア)
- 9月25日(日)村上大会(日本)
- 10月15日(土)、16日(日)スプリント・香港大会(チャイニーズ・香港)
- 11月19日(土)、20日(日)ブリトゥン島大会(インドネシア)

アジア大会

- 9月10日(土)、11日(日)
- ITU世界ロングディスタンストライアスロン・シリーズイベント(中国・ウェイハイ)

ITU世界パラトライアスロン大会

- 3月20日(日)パッファローシティー大会(南アフリカ)
- 4月23日(土)、24日(日)ペンリス大会(オーストラリア)
- 4月29日(金・祝) 甘日市大会(日本)
- 5月14日(土)、15日(日)アギラス大会(スペイン)
- 5月14日(土)横浜大会(日本)
- 6月5日(日)ストラックライド大会(イギリス)
- 6月19日(日)プサンソン大会(フランス)
- 7月23日(土)、24日(日)ロッテルダム大会(オランダ)

その他の大会

- 8月18日(木)、20日(土)第31回夏季オリンピック競技大会(ブラジル)
- 9月10日(土)、11日(日)第15回夏季パラリンピック競技大会(ブラジル)



2020 TOKYO

さらに高く 次のステージへ



**Triathlon Japan
National
Team**



Supported by

 **NTT 東日本**  **NTT 西日本**

www.jtu.or.jp



2016 RIO DE JANEIRO



スポーツ。水。アミノ酸。

「運動中に水を飲むな」。つい二十年ほど前まで、当然のように行われていた指導法です。しかし今では、こまめに水を摂るのが常識。スポーツは科学的見地から語られるようになったのです。さて、水分補給については大勢が知るところとなった。だがまだ、大事な補給がされずにいる。アミノ酸です。運動中の肉体は、想像以上に酷使されている。最高のパフォーマンスを発揮するためには、筋肉中のたんぱく質をすばやく補う必要がある。アミノ酸は、そのたんぱく質をつくる唯一の栄養素なのです。そう、必要なのは水だけではない。水といっしょにアミノ酸が不可欠。これは宣伝文句でもなんでもありません。スポーツ栄養科学が明らかにした事実でしかない。気づいている人は、当たり前前に飲んでいきます。アミノ酸で、あなたのスポーツが大きく変わる。合言葉は「スポーツ。水。アミノ酸。」です。

amino
VITAL^{アミノバイタル}
®

いつものプール、ロード。ただ繰り返す。
今日も、明日も。
一本でも多く泳いだか？走ったか？
昨日の自分より、速くなったか？
ゴールは向こうからは、やってこない。
だから近づく。一步一步。

挑戦は、美しい。



©Satoshi TAKASAKI/JTU

立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

人の心に働きかけ、人の心に響き、人の心が動く。

そんなイベントを多く仕掛けていく、手掛けていくことを目指しています。



イベント・ソリューション・パートナー

株式会社セレスポ スポーツ事業推進室

〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-21-5

tel:03-5974-1135 fax:03-5394-7637

www.cerespo.co.jp/

セレスポ



セレスポは日本トライアスロン連合のオフィシャルスポンサーです。

WE
CHOOSE
HUUB



HUUB
RESEARCH | SCIENCE | REALITY

STYLE BIKE, Inc. <http://www.stylebike.co.jp/>

Email : shop@stylebike.co.jp TEL : 075-255-1157



(イメージ)

出張経費も関連業務もスマートに。 **H.I.S.**

H.I.S.の海外出張

Business travel

年間取扱い**10,000社**以上の実績に裏づけされたコンサルティング

経験と豊富なサービスを駆使した複数提案で経費削減。

- 24時間H.I.S.オリジナルディスカウントの航空券の手配も可能なSFIDAオンライン(インターネットセルフブッキングシステム)
- 100万種類の海外航空券
- 日本では購入しづらいLCC(格安航空会社)50社以上を取り扱い

- 日本国内出張も取り扱い(ベネフィットワンシステムと業務提携)
- 専任チームによるきめ細やかな対応
- 渡航履歴を基にした様々なデータの分析で出張規定改善案を提案



(イメージ)

・出張管理/申請/承認もオンラインで手間と時間をカット

◎企業カルテを作成し、希望航空会社・マイルージ・座席希望など予約時の手間を軽減。快適な出張手配を実現します。

海外127都市186拠点 海外ネットワーク

(2015年4月現在)

日本を拠点にグローバルに海外進出されている海外支社の出張コストも(海外間、日本発着)本社一元管理を提案

- 突発的なトラブルを現地にてサポートするサポートコール出張先でも24時間安心
- 出張先での急な予定変更にも、リーズナブルでスピーディーに対応

H.I.S.が提供する豊富なサービスを駆使して危機管理・赴任サポート

- 出張者の位置情報を即座に確認できるCLICK(危機管理システム)ならひと目で情報を把握
- 赴任までのスケジュールや赴任先の現地情報を提供する、赴任者サポートサービス
引越し手配や査証手続き、予防接種などもお手伝いします
※一部の国や地域によっては他社に委託する場合があります。

H.I.S スポーツイベントセクション

スポーツ体験・スポーツ観戦ツアーはお任せください



(画像は全てイメージです)



ご予約・お問い合わせ

H.I.S. スポーツイベントセクション

新宿 ☎ 03-5360-4681

営業時間：月～金 11:00～19:30 / 土 11:00～18:30 / 日 11:00～18:00

横浜 ☎ 045-410-1571

営業時間：月～金 / 土 / 日 11:00～19:00

<http://www.sports-his.com>

SHIMANO BICYCLE COMPONENTS

すべてのサイクリングファンの笑顔を支える — シマノ バイシクルコンポーネンツ

レースに勝つために走る。初めてのサイクルスポーツイベントに挑戦する。仲間たちとロングライドに出かける。
様々なライディングシーンに圧倒的な高性能で応え、すべてのライダーに笑顔をお届けしたい。



DURA-ACE

SHIMANO
ULTEGRA

SHIMANO
105

SHIMANO
Tiagra

SHIMANO
SORA

SHIMANO
Claris

レース

スポーツ

ツーリング

妥協なき高性能。揺るぎのないシマノの製品づくりは
すべてのコンポーネントに息づいています。

株式会社シマノ シマノ セールス 株式会社

〒592-8331 大阪府堺市西区築港新町 1-5-15 「自転車お客様相談窓口」ナビダイヤル0570-031961 (IP電話からは072-243-2829をご利用ください)
● <http://cycle.shimano.co.jp> ● 広告の内容は2016年3月20日現在のものです。● 商品の色は印刷の性質上実際とは多少異なることがありますので、ご了承ください。



上段左・中央・右・下段右：ITU世界トライアスロンシリーズ横浜大会、下段左：第21回みやぎ国際トライアスロン仙台ベイセック大会

パラリンピックでの活躍を

今年9月にリオデジャネイロで行われる第15回夏季パラリンピック競技大会から、パラトライアスロンが正式競技として実施される。これに向けJTUパラリンピック対策チームでは、パラトライアスロンの強化指定選手制度の改定や、国際大会への選手派遣などさまざまな活動を行ってきた。

パラリンピック対策チーム 2015年の主な強化活動

- 国際大会への選手派遣
- 強化合宿の実施
- 第5回JTUトライアスロン・パラトライアスロン・フォーラム開催
- 日本パラリンピック委員会(JPC)と選手発掘事業共催(東京、大阪)
- 日本財団パラリンピックサポートセンター入居
- 各自治体のパラ選手支援事業への推薦
- 他競技団体との連携
- JPC強化助成事業
- マルチサポート事業(身体、男子)

- 外部助成事業の活用、助成金の獲得 など

そしてパラリンピック開催を迎える本年は、リオデジャネイロはもちろん2020年に東京で開催される第16回夏季パラリンピック競技大会も見据えて活動を展開していく。

2016年以降の活動予定

- 第15回夏季パラリンピック競技大会
- ナショナルチーム体制の整備
- 国際大会への選手派遣
- 強化合宿、個別合宿(他競技団体との連携強化)
- 強化助成・研究助成の獲得、活用
- オリンピック対策チーム・他競技団体との連携強化
- 専門委員会との連携
- クラシファイヤー(障害のクラス分け判定者)の育成
- 国内の大会、普及活動
- その他

2016年JTUパラトライアスロンナショナルチーム選手制度
2015年12月のJTU理事会において、第15回夏季パラリン



左上・右：ITU世界トライアスロンシリーズグランドファイナルシカゴ大会、左下：ITU世界トライアスロンシリーズ横浜大会

目標に パラトライアスロン強化・普及事業

ピック競技大会(2016/リオデジャネイロ)および、第16回夏季パラリンピック競技大会(2020/東京)での目標達成のため、パラトライアスロンナショナルチーム選手制度が承認された。

対象選手

日本国籍を有し、ITU主催レースへの出場資格を有するJTU登録選手

認定内容と認定手順

JTUパラリンピック対策チーム(パラ対策チーム)において強化指定選手のなかから選考し、理事会承認により認定する。評価にあたっては、強化B指定選手以上のなかから競技タイム上位者を基本とし、第15回夏季パラリンピックあるいは第16回夏季パラリンピックで入賞が期待される選手を対象とする。

ただし、第16回夏季パラリンピックは実施クラスが未定のため、全クラスの選手を対象とする。

認定期間

2015年12月以降の認定日～2016年11月末日までとするが、今後のルール変更や大会の成績によって、期間中であっても改訂されることがある。

JTU強化指定への資格等の授与(詳細は別基準・規定)

1)世界選手権グランドファイナル、世界選手権、アジア選手権、

強化合宿等へ優先的な参加資格

2)マルチ・サポート事業の対象選手(事業委託先との調整による)

チームリーダーコメント

パラリンピックに向けて

パラリンピック対策チーム

チームリーダー 富川理充(神奈川)

2016年はパラトライアスロンがパラリンピックにデビューする記念すべき年です。当チームは発足当初より4年計画で、リオデジャネイロ・パラリンピックに選手を派遣し、そこで選手が活躍できるようにと、一丸となって強化・普及活動に取り組んできました。その目標達成を目指し活動を継続していきます。

同時に、国内でのトライアスロン、パラトライアスロンの盛り上げをさらに後押しできるように、全国的な普及を目指した活動にも注力していきます。引き続き応援をよろしくをお願いします。

選手が安心して 競技を行うために

指導者養成・審判員養成



ITU世界トライアスロンシリーズ横浜大会

2015年度JTU公認指導者養成講習会 開催実績

※2016年実施日程はJTUホームページを参照。

会場	初級	中級
北海道会場(上川郡美瑛町)	9月20日、21日	9月20日～22日
岐阜会場(海津市)	11月21日、22日	11月21日～23日
新潟会場(新潟市)	11月22日、23日	11月21日～23日
島根会場(松江市)	11月21日、22日	11月21日～23日
熊本会場(熊本市)	11月21日、22日	11月21日～23日
東京会場(江戸川区)	2016年3月20日、21日	2016年3月19日～21日
山形会場(酒田市)	—	2016年3月19日～21日



ITUトライアスロンアジアカップ蒲郡大会

JTUではトライアスロン競技をより安全かつ正確に行うために、指導者や審判員の養成に取り組んでいる。

指導者養成委員会では2015年度中にJTU公認<初級><中級>指導者養成講習会を全国7カ所で行い、初級115名、中級45名が指導者資格に合格した(2016年3月現在)。そのほか2回にわたりJTU指導資格者研修会およびコーチングシンポジウムも開催した。

また審判委員会では第32回オリンピック競技大会/第16回夏季パラリンピック競技大会(2020/東京)に向けたITUテクニカルオフィシャル養成のため、2014年末から2016年に掛けて国内初となるITUレベル1認定セミナーを開催。審判員の普及と技術向上を目指し活動している。

さらに審判委員会と技術委員会が連携して各地に審判員や技術委員を派遣し、大会運営の改良を図るなど、選手が安全にレースに臨めるようさまざまな取り組みを行っている。

指導者養成委員会

委員長 矢野龍太郎(埼玉)

第71回国民体育大会/2016希望郷いわて国体からトライアスロンが正式競技になります。監督は公益財団法人日本体育協会の指導員資格保有が義務のため、当委員会では数年前から指導者養成講習会の開催を増進してきました。

2016年をゴールではなく新たなスタートと捉え、スポーツ系の専門学校での講習実施や、研修会の拡充(トレーナーチームならびにアンチドーピング委員会との連携)に注力します。また、2020年に向けて、ITUのコーチ資格や障がい者スポーツの指導者資格の取得を促進します。

審判委員会

委員長 川添勝(東京)

審判員とは選手が安全で公正なレースができるための見届け役です。

審判委員会では2014年11月にITUレベル1認定セミナーを国内で初めて開催しました。さらに2回目を2015年11月(東京会場)、3回目を今年2月(京都会場)、そしてあと1回の開催を計画しています。

現在ITUレベル3(1名)、レベル2(15名)、レベル1(48名)(昨年末時点)の有資格者がいますが、今後国際審判員の普及と審判員のレベルアップを目的に、認定セミナーを年2回開催する予定です。

また、現在行っているITURULEの翻訳作業やITU資格取得講習会の企画・実施、全国のJTU主要大会への審判員派遣などのほか、ITURULEを反映させた『JTURULEブック』の更新も実施予定です。

技術委員会

委員長 伊藤一博(千葉)

技術委員会では、全国の加盟団体・地域ブロックとの連携により、大会の運営やさまざまな取り組みについての現状調査を実施しています。

まずは地元技術・審判委員会(または準じる組織)とのネットワークを確立し、大会や勉強会、講習会への技術委員・審判員派遣を実施。活動を通して問題点や課題を洗い出し、地元加盟団体と協力しながら、大会の運営レベルや審判技術の向上を目指します。

また新たな委員会メンバーや協力者の人材発掘も行っていきます。

2020年に向けてスポーツから環境アクションを!

来たとき よりも キレイに!

～スポーツの心、環境と未来へ～



JAPANESE OLYMPIC COMMITTEE

公益財団法人 日本オリンピック委員会

すべてに最上を求めるリーダーに選ばれてきたBMW 7シリーズ。傑出したクオリティは、BMW ActiveHybrid 7という個性によってその先進性を極めます。独自のハイブリッド・システムと革新技術を組み合わせ、環境性能とさらなる走りのダイナミズムを両立。新たにBMWコネクテッド・ドライブを装備し、安全性と快適性も高めています。遥かなる高みを目指す、孤高のラグジュアリー・セダン。その真価を今こそ。

BMW
ActiveHybrid 7



www.bmw.co.jp

駆けぬげる歓び

格調と先進が融合する、 究極のラグジュアリー。

最上の輝きを放つ、革新技術の結晶。
BMW アクティブハイブリッド7。



よりクリーンに、よりパワーを。
BMW EfficientDynamics

BMWは、(公社)日本トリアスロン連合を応援しています。

BMW ActiveHybrid 7	[8速AT 4ドア 右/左ハンドル]	11,310,000円	BMW ActiveHybrid 7 L	[8速AT 4ドア 右/左ハンドル]	12,340,000円
BMW ActiveHybrid 7 Executive	[8速AT 4ドア 右/左ハンドル]	12,340,000円	BMW ActiveHybrid 7 L Executive	[8速AT 4ドア 右/左ハンドル]	13,780,000円

※表示の価格は、税金(消費税を除く)、保険料、登録の諸費用、リサイクル料金、付属品やオプション装備価格等を含まないメーカー希望小売価格(消費税込)です。販売価格はBMW正規ディーラーで各自定めておりますのでお問い合わせください。価格は予告なく変更する場合がございます。写真の車は、ActiveHybrid 7 Executive。一部日本仕様と異なり、M Sportパッケージ298,000円(消費税込)等のオプション装備は表示の価格には含まれません。ボディカラーはミネラル・ホワイト。印刷の都合上、実際の色合いと異なる場合がございます。記載の内容は2015年4月13日現在のものです。

【お問い合わせ】BMWカスタマー・インタラクション・センター 0120-269-437 平日9:00~19:00、土日祝9:00~18:00、年中無休。



メディカル・シンポジウム

第5回JTUトライアスロン・パラトライアスロンフォーラム開催

JTUでは、第5回となるJTUトライアスロン・パラトライアスロンフォーラムを、2016年(平成28年)2月6日(土)、7日(日)の両日、東京都港区のコンベンションホールAP浜松町で開催。近年増えている競技中の死亡事故の原因究明と大会での対策に言及した1日目の「メディカル・シンポジウム(日米大会現場からの報告)」を掲載する。

シンポジウムに約150名の出席

まず國分孝雄JTU会長が開会の挨拶に立ち、「この数年、トライアスロン大会で亡くなられた方が増えている。その方たちの命を無駄にしないよう、また今後の大会での対策を講ずるため、このシンポジウムを開催する」旨の発言がなされた。



続いて、ローレンス・クレスウェル博士(米国トライアスロン連盟(USAT)メディカルドクター、ミシシッピメディカルセンター心臓外科医)の基調講演が行われた。

それを受けて、笠次良爾メディカル委員長が、「大会の現場から」と題して日本で起こった事故についての報告を行った。

ローレンス・クレスウェル(USAT)博士講演

米国でのこれまでの事故はほとんどが40歳以上で、男性が80%、全米に分布している。これらには心臓性突然死が大きく関係している。ランニングレースでも、2000～2010年の調査で約1,100万人のうち59人が亡くなっていて、マラソンでは10万人に一人、ハーフマラソンでは30万人に一人の死亡率という報告がある。このうち心停

止から回復したのは29%で、心肺蘇生法(CPR)によるもの。解剖した場合の結果では、心臓に何らかの異常が認められた。

2004～2008年の約200万人の大学生を対象にした調査では、1年間に4万3,770人に一人の確率でスポーツ中の心臓性突然死があるとしている。バスケットボールで1万1,000人に一人、水泳で2万1,000人に一人、ラクロスでは2万3,000人に一人、アメリカンフットボールでは3万8,000人に一人、クロスカントリーでは4万2,000人に一人という数字であった。

フランスの2005～2010年の調査では、心臓性突然死は100万人に4.6人。対象は11～75歳で、平均年齢は46歳。90%はレクリエーションでの運動で、トライアスロンをはじめバレーボール、ボディビルディング、卓球、アルペンスキーなどの競技で報告されている。

米国のミネアポリス心臓研究所財団のケビン・ハリス博士は、米国心臓病学会での2010年の発表で、2006～2008年にトライアスロンでは約100万人のうち14人が死亡したと発表。そのうち13人がスイムで、一人がバイク。男性11人で、女性3人。距離はさまざまで、10万人のなかで1.5人の死亡率。マラソンは10万人のうち0.8人の死亡率であった。

14人のうち7人は心臓に疾患があった。5人は心臓肥大、一人は遺伝的な心臓疾患、もう一人は冠動脈異常だった。

USATでは、2012年に調査結果をまとめた。2011年

のトライアスロン参加者は約50万人、USAT公認大会は約4,500大会にまで増えた。そして2003～2011年で45の死亡例がある。31はスイムの事故で、年齢は30～70歳、40は外傷性でない原因とされる。



2010年は17万3,000人に一人、2011年は5万4,000人に一人で、2006～2011年の平均では、7万6,000人に一人の死亡例となる。死亡率と距離、会場の条件、スタートの形式に関連性はなく、死亡した選手の経験年数もさまざまで、経験が浅い選手が危険とはいえなかった。

提言として、選手は大会前に担当医に相談し、心臓に問題がある場合は知っておくこと。健康を考慮してレースを選択し、安全な大会を選ぶこと。オープンウォーターの練習を行い、レースの情報を得、機材の点検をし、身体に異常を感じたら出場をやめること。レースでは周りに気を配って、不測の事態に対処し、救命機器の使い方に慣れておくことも重要である。

大会主催者は安全対策をし、緊急事態にどう対処するかを訓練。スイムの安全対策と安全なコースづくりを行い、緊急事態の通信手段を確保し、選手への安全ブリーフィングをし、スイムなどのウォームアップの時間を設けるほか、レースを競技団体に公認してもらうことも重要。

競技団体は、安全性の情報を選手に与え、コーチと選手、レースディレクターへの安全教育を行い、最善の安全対策を講じ、関係者と共有する。死亡事例や事故があった場合は、継続的に調査し、他の団体の情報を集めて公示し、毎年報告書を出すことなどが重要。

こうした結果から、USATではレースディレクターに対して教育的な機会を持つことにした。そして良い大会については、評価する。これまで心肺停止から3名が生還したが、スイムの安全対策は重要で、安全プランニング対策委員会を設けている。

ハリス博士との共同研究の結果、競技歴、病歴、治療歴、検死の結果などが資料として重要であると分かった。

国際オリンピック委員会 (IOC) は、90%の事故は心臓疾患が原因であるとしている。また高いレベルの選手ほど医師のチェックを受けるべきとしている。また国際トライアスロン連合 (ITU) でも医務的な問診、健康診断を行ってレースに臨むことを推奨している。

昨年、フランスのトップエリートであるローラン・ビダル



選手が心肺停止し、31歳で亡くなった。運動中の心停止はどのような選手にも起こり得ることで、さらにエイジグループの選手はリスクが高いといえる。

笠次良爾 JTUメディカル委員長報告

トライアスロンが国内300大会と増えるなか、昨年7月19日(日)の鳥取県と山形県での事故をはじめ6例の死亡事故が発生した。

日本でのこれまで35年間の死亡事故が37で、そのうち34が男性、女性2、記載なし1。平均年齢は49.8歳。年齢分布は40代以降がボリュームゾーン。種目はスイムが31、バイク0、ラン4、レース後1、スタッフ1で、80%以上がスイムで起きている。海27、湖2、川2、プール1、道路1、体育館1と、大半が海である。

スタンダード、スプリント、ミドル、ロング、駅伝、リレー、アクアスロンと、距離や形態に関係はない。トライアスロン経験者は13人おり、初心者が危険とはいええない。

原因は、不明35%。溺死13、急性心不全3、心筋梗塞1、虚血性心疾患1、心臓突然死1、心不全(熱中症後)1、感染症死1、そのほか2で、すべて非外傷性である。このうち、解剖されたのは2例。年齢分布は中高年となっており、参考までに参加者の男女比は、2013年の石垣島トライアスロンで女性は17%である。死亡例の90%が男性となっている。

スイム事故の発見場所はフィニッシュ100m以内に集中しており、21例中7例が該当。特記事項として、心臓疾患があって出場1、喫煙者1、競技前日飲酒3。なお競技中平均水温は記載されたものでは平均23.4±2.9度(19～29.5度)。発見状態は、水面18、水没2、苦痛1、Uターン泳、円を描く3、ライフセーバー注意喚起5、着衣(ランニングシャツなど)泳1、代理出場1だった。

スイム時の救護が多く、心臓由来のものが多。ほかに基礎疾患の存在、冷水刺激、低体温、飲酒、胃の膨満、ウェットスーツトラブル(サイズ、経年変化など)、平衡感覚失調、不整脈、パトルの外傷、誤嚥、パニック、下肢けいれんなどが泳げる人の溺水の原因として考えられる。

日本での突然死は年間約5万人を数えるが、心室細動によるものが70～80%、年間2万数千人が心室細動で死亡しているとみられる。中高年は、虚血性心疾患が多く運動負荷によるリスクは高まる。若年層は、肥大型心筋症、冠動脈異常などの基礎疾患を有することが多い。故に、レース前の健康診断がいかに有効であるかが分かる。



パネルディスカッション

「大会での安全管理の考察」

基調講演に立ったローレンス・クレスウェル博士と、報告を行った笠次良爾メディカル委員長に加え、大会主催者の立場として川内博、メディアの立場として村山友宏、ライフセーバーの立場として篠田敦子も参加した。

パネリスト

- ・ローレンス・クレスウェル博士 (USATメディカルドクター、ミシシッピメディカルセンター心臓外科医)
 - ・笠次良爾 (JTUメディカル委員長)
 - ・川内博 (一般財団法人佐渡市スポーツ協会)
 - ・村山友宏 (『トライアスロン・ルミナ』編集部)
 - ・篠田敦子 (日本ライフセービング協会公認インストラクター) コーディネーター
- 大塚 眞一郎 (JTU専務理事)

大塚: JTUではエリート選手の大会だけでなく、一般の大会も管轄している。クレスウェル博士、笠次委員長の話を受け、安全な大会づくりへの議論を深めたい。

川内: トライアスロンとの関わりは、1996年の第1回ロングディスタンス日本選手権から。佐渡大会では、過去2回のトライアスロンで事故が起き、昨年のオープンウォーター大会2,000mの種目で一人亡くなった。経験の浅い方もベテランもあり、心臓由来と思われる。

大塚: 佐渡で独自のライフセービング組織をつくったと聞かす。

川内: ライフセービングクラブ制度をつくった。水上バイク、ボード、カヌー、漁船などで構成している。

村山: 1998年からトライアスロンに関わっている。2011年から『トライアスロン・ルミナ』誌上で安全対策の

企画を掲載。安全のための基礎技術を伝えていきたいし、体験の場をつくりたい。現場での安全の普及が必要だと思う。昨年は木更津でのトライアスロン大会を運営し、この大会要項にも安全対策を盛り込みたい。

篠田: 1カ月前に東京駅で心肺停止の方に遭遇した。駅員にAEDを頼み、胸骨圧迫だけが続けていたところに、看護師が現れて交代した。AEDの1回目のショックで手が動いたように見えたが呼吸は戻らず、圧迫が続けた。2回目のショックでその方が手を握ってきて呼吸も戻ったところで、救急隊に引き継いだ。救命救急は日常のことで、ふだんからの用意が必要だと思った。

安全は選手、大会運営側(実行委員会)、競技団体で構築していくもの。選手は、自分の体調を管理し、セルフレスキューできること。また、近くにいる選手のケア、ライフセーバーへの伝達などを心にとめておいてほしい。

クレスウェル: 大会関係者は、事故から学んで生かしたいと思うもの。メディアの役割は情報を届けるなかで、選手に安全教育をすることも必要。レースディレクターも安全対策への教育に参加してほしい。篠田さんは素晴らしい救命をした。

大塚: 事故から学んだことは。

川内: 翌年の大会で選手に自己管理啓発の印刷物を送ったが、大会だけが安全対策をするには限界があると感じた。選手側でも安全管理、体調管理、機材の管理をすることが安全な大会の実現につながると思う。

大塚: メディアの立場から、啓発普及はどうしたいか。

村山: 隠れ心疾患についての啓発をしたい。5kmランの練習会などで、心電図計測などができないか考えている。

クレスウェル: 心電図を注意深く見れば隠れ心疾患を発見できることもある。すべての人には当てはまらないが、最善を尽くすべき。中年以降の方は、主治医によく相談すること。

大塚: 選手が他選手を助けるにはどうすれば良いか。



篠田：セルフレスキューは大切。スイムは速く泳ぐことだけでなく、人混みで泳ぐなどの練習も重要。ライフセーバーでなくても、浮くにはどうするか、人混みでのスイムではどうなるのか、などについて学んでおく。これらが救助のヒントになる。

大塚：佐渡大会での熱中症対策は。

川内：ふだんより30%増の水分を、ゆっくり飲んでもらうように推奨している。

大塚：メディアは選手、大会、競技団体の共同責任をどう思うか。

村山：大会、競技団体は距離が近く情報共有できるが、選手との連携がやや薄く感じる。選手をお客さま扱っている面もある。選手も、安全は確保されているもの、と認識している。

大塚：ウェットスーツの功罪は。

篠田：ウェットスーツがあれば安全という気持ちがいけない。ウェットスーツは万能ではない。

クレスウェル：アメリカでもウェットスーツへの思い違いがある。体温低下を防ぐ一方、温度が高いなかでは危険ともいえる。

笠次：セルフマネジメントの観点からは、どのようにメディカルチェック、セルフチェックを進めるかが課題。少なくとも一般的な健康診断は受けてほしい。

クレスウェル：アメリカでも、トライアスロンの参加で健康診断書提出はない。ランニング、サイクリングでもない。選手がセルフチェックする。

川内：佐渡大会では、健康チェックシートを提出する。

笠次：ほとんどが男性の犠牲だが、その理由は。

クレスウェル：男性が多いのは、心臓のリスクがより高いからという分析がある。アメリカの水泳連盟は、メンバーシップ更新時に健康診断を受けさせるようにしている。

笠次：大会申し込み前の定期的な健康診断を推奨していきたい。

村山：木更津トライアスロン大会で、トライアスロンドクター採用の意見もある。

笠次：佐渡大会ではトライアスロンドクターが早い時期から採用された。ただし、トライアスロンドクターがいれば安全というわけではない。スイム時に溺水選手の救命を行うのは、トライアスロンドクターには困難である。豊崎大会では医師が待機してただけでなく、ちょうど選手として出場していた医師と救命救急士が現場を通りかかり、ランスタートのそばだったのでAED到着も早かった。館山大会ではスイムレスキューが迅速だった。そこから、対応の早さが鍵であることが学べる。

篠田：館山では、レスキューボードで心肺蘇生法ができた。レスキューボードやジェットスキーでは、選手の引き上げは容易だが、船は海面と差があるので引き上げが難しい。レスキューは審判から権限を得て、危険と思われる選手を



リタイアさせられることが必要。「休憩しましょう」「ゴーグルをはずしましょう」と言い、視線で状態を確認し、危険であれば中止を推奨する。

クレスウェル：レスキューにレースをストップさせる権限を与えておくことは重要だ。水の上で蘇生できるレスキューボードも用意すべき。

川内：安全の啓発活動をするなか、注意書きを読んでもただけなことが増えてきている。今後どのように知らせていくかが課題。死亡事故が起こったら、遺族と連絡を取ること、首長を中心として対策にあたるのが重要だ。

村山：注意書きを読まない人への対応が課題。選手の自覚を促す役目があると思うので、理想をつくって提示したい。

篠田：ライフセービング協会として、選手を守る重圧を感じる。マニュアルも必要だが、それに頼るだけの救命ではいけない。選手への啓発、現場での安全対策が重要。

笠次：大会の安全はみんなで作るもの。現場の意見がもっと聞きたい。選手の自覚とマナー面での安全行動も重要だ。

クレスウェル：アメリカでは、レースディレクターを集めて安全教育を行うが、全米で約40のミーティングがある。アメリカと日本は、同様の問題を抱えているので、ともに学んで、意見を交換していきたい。

委員長コメント

メディカル委員会委員長 笠次良爾(奈良)

昨年は国内大会で6人の選手が不慮の事故に遭うという、緊急事態と言える1年でした。これまでも安全対策に取り組んできましたが、これを期に過去の国内事例について再調査し、結果を上記のフォーラムで報告したところです。

招聘したローレンス・クレスウェル博士から米国の提言「Shared Responsibility for Race Safety」を紹介していただきましたが、われわれは今年、「選手・主催者・競技団体が皆で安全な競技環境を創り上げる」ことを目指し、さらなる教育と啓発活動を推進していきます。



スポーツ観戦は JTB スポーツデスク！

<http://www.jtb.co.jp/sports/>



OAKLEY HYBRID TRAINING


OAKLEY

jp.oakley.com ©2016 Oakley, Inc. OAKLEY JAPAN K.K. Tel:0120-009-146



前を向け。 未来たち。

追いかけて来い。追い抜いて行け。
若い君たちの可能性こそが未来だ。



スポーツくじ



スポーツは育てることができる。



スポーツくじ(toto・BIG)の収益は、日本のスポーツを育てるために使われています。

www.toto-growing.com ©19歳未満の方の購入又は譲り受けは法律で禁止されています。払戻金も受け取れません。運営・販売：独立行政法人日本スポーツ振興センター

宮崎をナショナルトレーニングセンター(NTC) 競技別強化拠点施設に指定



フェニックス・シーガイア・リゾート及び周辺エリア(宮崎県)が、文部科学省・スポーツ庁から、オリンピック・パラリンピックに向けたトライアスロン競技のナショナルトレーニングセンター(NTC) 競技別強化拠点施設に指定された。今後、施設を活用してトップ競技者の強化やトレーニングをバックアップするほか、医・科学・情報などのサポート環境を整える。指定期間は2018年3月末まで。

1998年から活用

JTUでは、2000年のシドニーオリンピックに向かう最初の合宿を組んだ1998年から宮崎県を拠点にしている。2016年1月にはパラトライアスロン強化合宿をトライアスロンナショナルチーム合宿と同時期に実施。これらの活動が海外にも紹介され、アジア諸国からのキャンプ開催を希望する声も増えている。

年間を通じ 実践練習が可能

特に強調できることは、強化拠点施設のフェニックス・シーガイア・リゾートに隣接するサンビーチーツ葉が、温暖な気候のため冬場でもオー



ブンウオータースイムができること。また有料道路を占有使用したバイク・ラントレーニングなど、年間を通じてレースを想定した実践練習ができるトライアスロンの最適地となっている。

宮崎特産品を使った食事

これらの合宿に参加した選手やコーチ陣からの評価も高く、宮崎産の食材を使ったアスリート向けの食事の提供等、環境・食事両面での総合的なサポートは心強い。地域の歓迎ムードも選手のやる気をかき立てる。

上田藍選手

(バリエ・グリーンタワー・プリチストン・稲毛インター/千葉)

宮崎はとても温暖な気候で、サンビーチーツ葉では冬でもオープンウオータースイムの練習ができます。



さまざまなアップダウンのあるバイクコースを走り、特に法華嶽の上り坂は第31回夏季オリンピック競技大会が開催されるリオ・デ・ジャネイロのバイクコースとほぼ同じ傾斜で、レースに向けて良いイメージトレーニングができます。

ランニングは日ごろから不整地で、階段などのアップダウンを含めたトレーニングを行っているので、私の一番のお気に入りスポットは平和台公園です。宿泊先のフェニックス・シーガイア・リゾートでは、宮崎産の食材



を使ったアスリート食を提供していただき、身体を中からつくり上げることができます。

宮崎は、私の大好きな合宿地の一つに加わりました。

山本良介選手 (JTUアスリート委員長)

(京都府トライアスロン協会/京都)

宮崎には、トライアスロンの大会や、ゴルフ、サーフィンをするために訪れたことはありましたが、トライアスロンの合宿で訪れたのは初めてでした。



スイムはプールでのトレーニングに加えて、気候が温暖なため冬でも海を使ったオープンウオーターでの練習ができる、実践向けの練習環境。バイク、ランはコースレポーターが豊富な上に、総合運動公園では自転車競技場を利用したバンクトラック練習や、陸上競技場を利用したトラック練習を行うことができます。

食事も宮崎の特産品が豊富でとてもおいしく栄養満点でした。何よりも宿泊施設の方たちの万全のサポートにより、充実した合宿を行うことができた宮崎合宿でした。



富川理充 パラリンピック対策 チームリーダー(神奈川)

タンデムバイクの公道走行が解禁されており、視覚障がいのある選手も身体障がいのある選手とともに実走練習が可能です。宿舎内にはプールやジム、同敷地内にはランニング用の舗装路も整備されており、スイム、バイク、ランの3種類の練習環境が集約されていることもパラアスリートにとっては好都合です。

食事は充実したメニューはもちろんのこと、練習スケジュールによって臨機応変に調整・対応していただけるので、合宿の開催地としてはうってつけの環境です。

いわて国体から トライアスロンが 正式競技に

第71回国民体育大会／2016希望郷いわて国体からトライアスロン

が正式競技として開催される。トライアスロン競技は10月2日(日)に釜石市根浜海岸特設トライアスロン会場で行われる。

釜石市では昨年、リハーサル大会として「第22回釜石はまゆりトライアスロン国際大会」で従来のエイジの部・リレーの部に加えて、国体を見据えて「エリート」部を新設し、スイム1.5km・バイク26km・ラン10kmの縮小コースでレースが行われた。アップダウンがあるテクニカルなバイクとフラットな高速コースのランの特徴あるコースで、今年のレースにも期待がかかる。

国体のトライアスロン競技は来年2017年愛媛大会でプレイベントが検討されているが、2018年福井大会では2回目の正式競技が行われる。

日本ライフセービング 協会とパートナーシップ 協定の覚書を締結

公益社団法人日本トライアスロン連合(JTU)は特定非営利活動法人日本ライフセービング協会(JLA)と、全国の水辺の環境保全、安全指導、監視・救助等を行うライフセービング及びトライアスロン競技等の健全な普及を促進するために、2016年3月16日(水)、パートナーシップ協定を取り交わした。



[1] 大会・事業の 相互協力関係の促進

JTU及びJLAが関係する大会・事業の相互協力体制を充実させるために、両団体のノウハウを交換し、JTU及

びJLAの全国組織の交流を促進する。

[2] トライアスロン大会の 安全体制の構築

選手・関係者の水辺の安全促進のために、スイムの監視・救助の充実を図り、水難事故を未然に防ぐための知識・技術の普及により、自助・共助力の向上に貢献する。

[3] ライフセーバーの全国的普及

トライアスロン開催地でのライフセーバー養成講習会等の開催及び各地域の組織間の連携とライフセービングが未整備な地域の組織構築を支援する。

[4] 国際的な競技環境の 整備と安全管理の向上

第32回夏季オリンピック競技大会／第16回夏季パラリンピック競技大会(2020/東京)でのトライアスロン及びパラリンピックの実施に向けた環境整備と総合的な安全対策のために、両団体が歩調を合わせて取り組む。

海外競技団体と 提携事業相互

ニュージーランドトライアスロン連盟(2015年2月)及び、香港チャイナトライアスロン連盟(2015年8月)と相互協力の覚書を締結。第32回夏季オリンピック競技大会／第16回夏季パラリンピック競技大会(2020/東京)に向け、コーチング等、ハイパフォーマンスプログラム(エリート強化プログラム)について相互協力を行う。

2015年度には香港チャイナナショナルチーム選手の日本開催の合宿を受け入れたほか、ニュージーランドでの個別強化合宿の合同開催などを行った。今後、メキシコ、ブラジル、イギリス、オーストラリアなど協力関係の深い欧米諸国そしてアジア各国との提携を進める。

トライアスリート 補償制度 「スイム・バイク・ラン 保険」受付開始

トライアスロンを楽しむ愛好者（トライアスリート）向けの補償制度（スイム・バイク・ラン保険、スポーツ安全保健）の提供を開始した。

本制度は、JTUオフィシャルスポンサーである三井住友海上火災保険株式会社と提携して開発したもので、「JTU登録会員」が対象。日々のトライアスロンに必要な3種目（スイム：水泳、バイク：自転車、ラン：ランニング）のケガ・事故などを補償する本制度を通じて、トライアスリートが安心・安全にトライアスロンに取り組める環境整備を目指す。

詳細は下記URLを参照。

<http://www.jtu.or.jp/news/2016/160401-1.html>

JTU会員特典から

JTU会員の方はスポーツクラブNAS（JTU会員特典）、コナミスポー

ツ&ライフ（法人会員契約）の特典が利用できる。詳細は各案内を参照。

スポーツクラブNAS



コナミスポーツ&ライフ



各種情報

JTUホームページでは選手情報、競技規則などさまざまな情報がご覧いただけます。

選手プロフィール

エリート



ロングディスタンス



パラトライアスロン



ジュニア



デュアスロン



競技規則

JTU競技規則(要約)



JTU加盟団体(全国11ブロック・47)

社員総会 (4)

- ・常務理事(事務局、規程ほか)
- ・常務理事(財務)
- ・理事(ブロック推薦)
- ・理事(各部担当)

事務局

強化/国際/総務/広報/
財務/渉外/法務ほか

危機管理委員会

委員長 國分孝雄

第三者委員会

(随時構成)

調査委員会

(随時構成)

通報相談処理窓口

監事 荻原政吉

オリンピック対策チーム

リーダー 飯島健二郎
マネージャー 山根英紀

総務 山倉紀子

コーディネーター 尾内香

パラリンピック対策チーム

リーダー 富川理充

指導者養成委員会

委員長 矢野龍太郎

マルチスポーツ委員会

委員長 中島靖弘

コーチ委員会

委員長 福井英郎

強化委員会

委員長 山根英紀

次世代育成・強化委員会

委員長 中山俊行

情報戦略・医科学委員会

委員長 村上晃史

エリート女子

担当 山倉紀子

エリート男子

担当 尾内香

次世代強化

リーダー 中山俊行
リーダー補佐 内山勇

U23男子

監督 福井英郎

U23男子担当

村上晃史

U23男子担当

森谷直樹

U19男子担当

八尾彰一

U23女子

監督・アカデミー担当 蓮沼哲哉

U23・U19女子担当

浅沼美鈴

U23・U19女子担当

瀬尾幸也

U15

担当 小原工

次世代ターゲット
スポーツ育成・強化

担当 島田佳久

情報戦略

担当 村上晃史

メカニック

担当 相田博幸

トレーナー

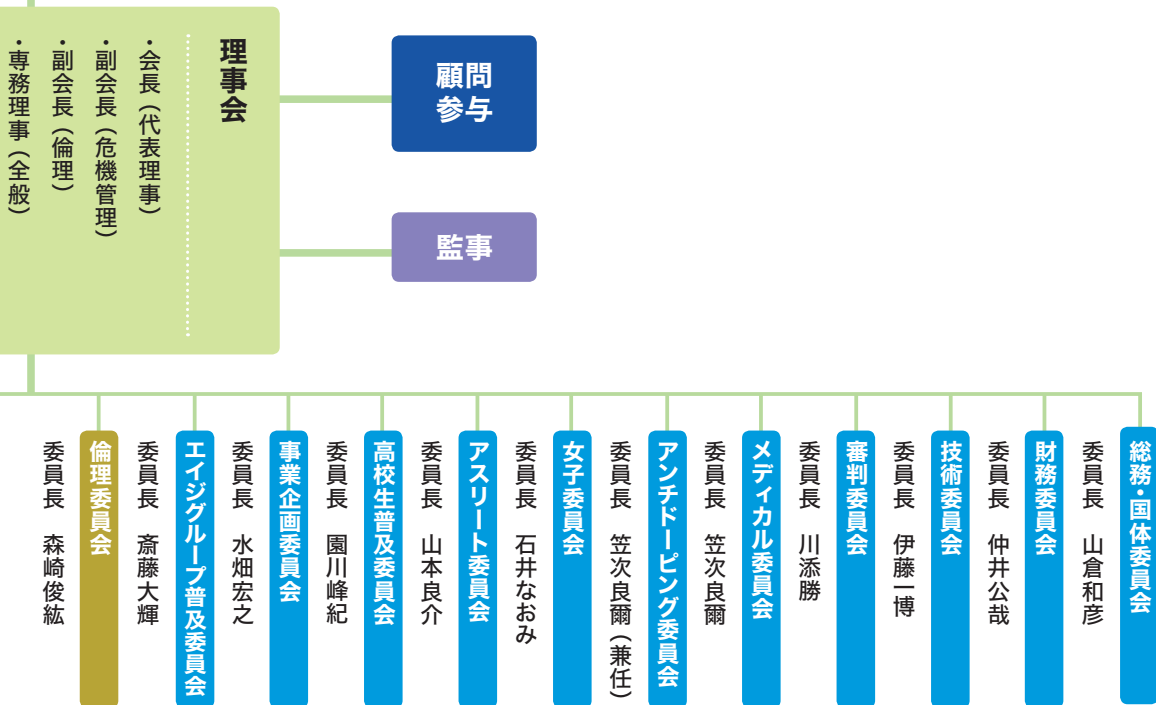
担当 矢島実

マテリアル

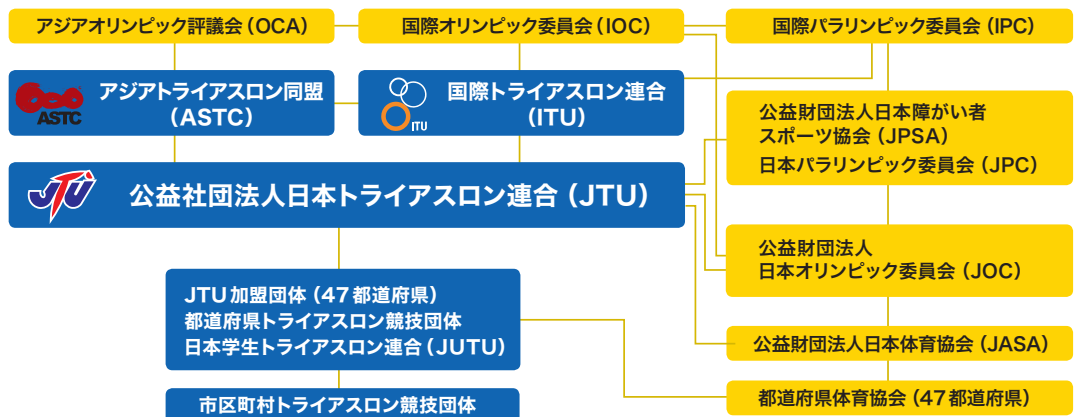
担当 島田佳久

都道府県・日本学生トライアスロン連合)

7加盟団体)



JTU組織図(世界規模)



日本のトライアスロンの歴史

- 1974年(昭和49年) アメリカ・カリフォルニア州サンディエゴで、初のトライアスロン大会開催
- 1981年(昭和56年) 鳥取県米子市で日本初の皆生トライアスロン大会が開催
- 1985年(昭和60年) 沖縄県宮古島市でストロングマン、滋賀県でアイアンマンジャパンびわ湖、熊本県天草市で日本初の51.5kmの天草国際トライアスロン大会が開催
- 1989年(平成元年) 国際トライアスロン連合(ITU)創立。フランス・アビニオンで第1回ITU世界選手権が開催
- 1990年(平成2年) NTTトライアスロンサーキットスタート
- 1991年(平成3年) アジアトライアスロン同盟(ASTC)設立
- 1994年(平成6年) 日本全国の組織・団体を統合した「日本トライアスロン連合(JTU)」が設立
- 1998年(平成10年) 財団法人日本体育協会に加盟
- 1999年(平成11年) JTUが社団法人格取得。財団法人日本オリンピック委員会(JOC)に加盟
- 2000年(平成12年) シドニー・オリンピックで正式競技に。日本選手女子は庭田清美14位、平尾明子17位、男子は小原工21位、福井英郎36位、西内洋行46位
- 2004年(平成16年) アテネ・オリンピック。日本選手女子は関根明子12位、庭田清美14位、中西真知子20位、男子は田山寛豪13位、西内洋行32位
- 2006年(平成18年) アジア競技大会カタール大会にトライアスロン初登場。日本選手女子は上田藍2位、関根明子3位
- 2007年(平成19年) ITUワールドカップ・エイラート大会(イスラエル)で、田山寛豪が日本選手ワールドカップ初優勝
- 2008年(平成20年) 北京オリンピック。日本選手女子は井出樹里5位、庭田清美9位、上田藍17位、男子は山本良介30位、田山寛豪48位
- 2009年(平成21年) 国民体育大会/トキメキ新潟国体でトライアスロンが公開競技に
- 2010年(平成22年) 第1回ユースオリンピック・シンガポール大会で佐藤優香が金メダル獲得。アジア競技大会広州大会で、日本選手女子は足立真梨子優勝、土橋茜子2位、男子は細田雄一優勝、山本良介2位
- 2012年(平成24年) ロンドン・オリンピック。日本選手女子は足立真梨子14位、井出樹里34位、上田藍39位、男子は田山寛豪20位、細田雄一43位。ITU世界トライアスロングランドファイナルオークランド大会で松本文佳がジュニア女子優勝
- 2013年(平成25年) 公益社団法人日本トライアスロン連合(JTU)に改組
- 2014年(平成26年) ITU世界トライアスロン横浜大会で上田藍が2位。ITUが25周年、JTUが20周年、トライアスロン生誕40周年を迎える。アジア競技大会仁川大会で、日本選手女子は上田藍優勝、井出樹里2位、男子は細田雄一優勝、田山寛豪2位、男女混合リレーでも日本チーム(佐藤優香、田山、上田、細田)が優勝
- 2015年(平成27年) 宮崎県シーガイア周辺が国のトライアスロン・ナショナル・トレーニングセンターに指定(翌3月パラトライアスロンも認定)
- 2016年(平成28年) NTTがITU世界トライアスロンシリーズ(WTS)、ASTCトライアスロンアジアカップシリーズのスポンサーになる。ITUワールドカップ宮崎大会開催。第31回夏季オリンピック競技大会/第15回夏季パラリンピック競技大会(リオ・デ・ジャネイロ/2016)開催。国民体育大会/希望郷いわて国体で、トライアスロンが初の正式競技に
- 2018年(平成30年) アジア競技大会インドネシア・ジャカルタ開催
- 2020年(平成32年) 第32回夏季オリンピック競技大会/第16回夏季パラリンピック競技大会(東京/2020)開催(トライアスロン/パラトライアスロン:お台場コース)
- 2021年(平成33年) ITU世界トライアスロングランドファイナル横浜大会開催検討。関西ワールドマスターズゲームズ 開催

トライアスロンの基本

トライアスロン(Triathlon)は、スイム(水泳)・バイク(自転車)・ラン(ランニング)を連続して行うスポーツで、ラテン語の「3」を指すtriと、「競技」を指すathlonを合わせた造語。マルチスポーツとは、複数の種目の連続。

競技距離はさまざま(総合距離12.875~226km)で、年齢層が広いことから生涯スポーツとして広がっている。その他、基礎体力づくりや教育の一環としても活用される。

Transition トランジション

種目間の転換は「トランジション(Transition)」と呼ばれ、いかに速く次の競技に移るかが鍵。「第4の種目」といわれる。

Triathlon

トライアスロンファミリー **オリンピック**
Olympic



ITU世界トライアスロンシリーズ
ITU World Triathlon Series

ITU世界トライアスロンシリーズ

スタンダードディスタンス(51.5km)とスプリントディスタンス(25.75km)で競われる世界最高峰の大会。トップアスリートによる「エリート部門」と一般参加の「エイジグループ部門」があり、2日以上にわたって開催される。

ワールドカップ
World Cups

大陸別選手権および大会
(アジア選手権・アジアカップ・アジア大会・ユースオリンピック)
Continental Championships and Continental Cups

各国の選手権および大会
(日本選手権・ジャパンカップシリーズ・国体など)
National Championships and National Events

国内大会

スタンダードディスタンス“オリンピックディスタンス(通称)”



新しいトライアスロンの仲間



ミックスリレー

男女各2名がチーム。スイム250～300m・バイク5～8km・ラン1.5～2kmのコースを4名が連続してリレー。スピードある展開と競り合いが特長。2014年アジア競技大会(仁川)で採用決定。



クロストライアスロン

自然の野山で、スイム1km・マウンテンバイク20～25km・クロスカントリーラン6～8kmで競う。2011年、初めての世界選手権が行われた。



パラトライアスロン

身体の機能障害をPT1～5の五つに分け、カテゴリー別にスプリントディスタンスで競われる。2016年のリオ・デ・ジャネイロからパラリンピック正式競技となる。



アイアンマンディスタンス

1978年、アメリカ・ハワイのオアフ島が発祥。スイム3.8km・バイク180.2km・ラン42kmで競う。ウルトラ・ロングディスタンスとも称する。ハーフアイアンマンもある。



おゆみ野

勝どき

西日暮里

大崎

茅ヶ崎

勝どき

稲毛海岸

稲毛海岸

あべの

いっしょに笑える、
仲間がいる。

吉祥寺

吉祥寺

川越

川越

光が丘

在籍会員数

国内拠点数

日本最大級の トライアスロンスクール

NASTトライアスロンスクール

For Kids
キッズクラスも
大好評!



武蔵浦和

川越

新川崎

聖蹟桜ヶ丘

聖蹟桜ヶ丘

港北

中山

戸塚

西船橋

稲沢

町屋

西船橋

北茨神

サンマルシェ

長崎

関東を中心に22店舗のスポーツクラブNASで開講中!

— 店舗情報など詳しくはWebで! —

NASTライアスロンスクール

検索



Daiwa House®

大和ハウスグループ

共に創る。共に生きる。

大和ハウスグループは、

グループシンボル「エンドレスハート」に

お客様と私たちの永遠の絆と

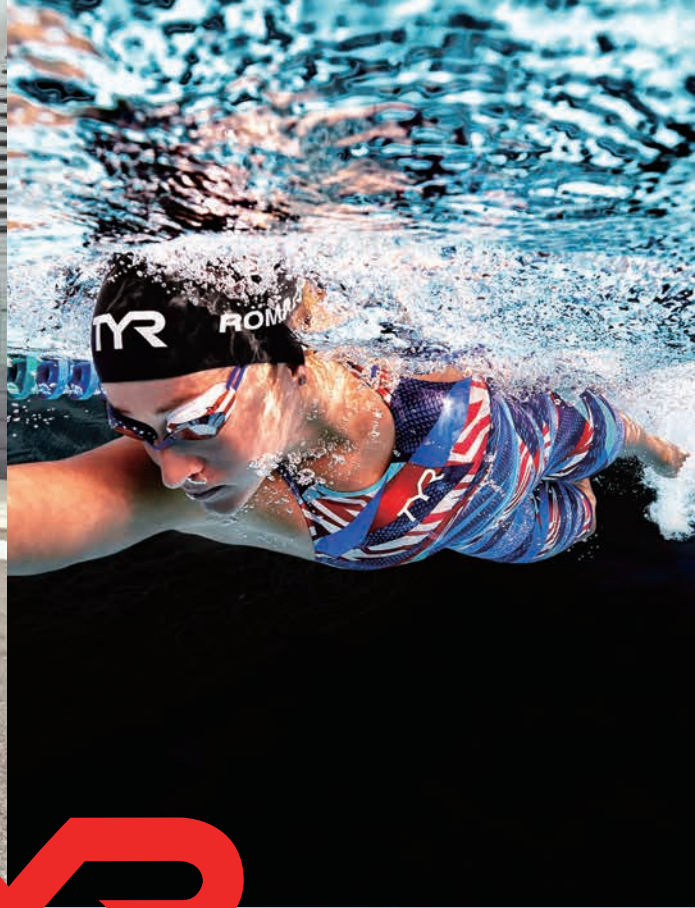
私たちグループの連帯感を託しました。

人・街・暮らしの価値共創グループとして、

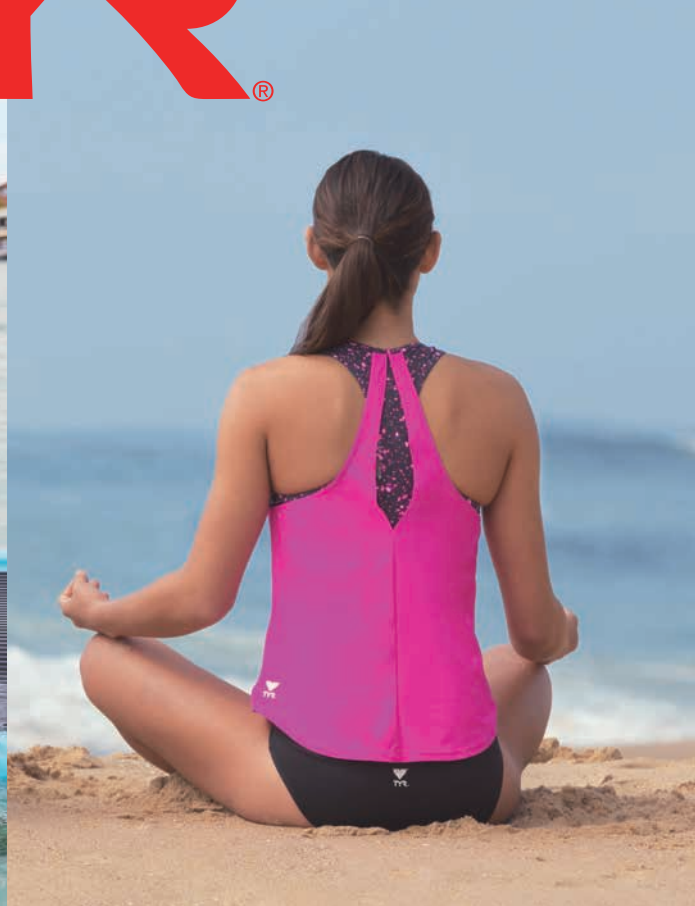
私たちは社会に新しい価値を築いてまいります。

大和ハウス工業株式会社

www.daiwahouse.com



TYR®

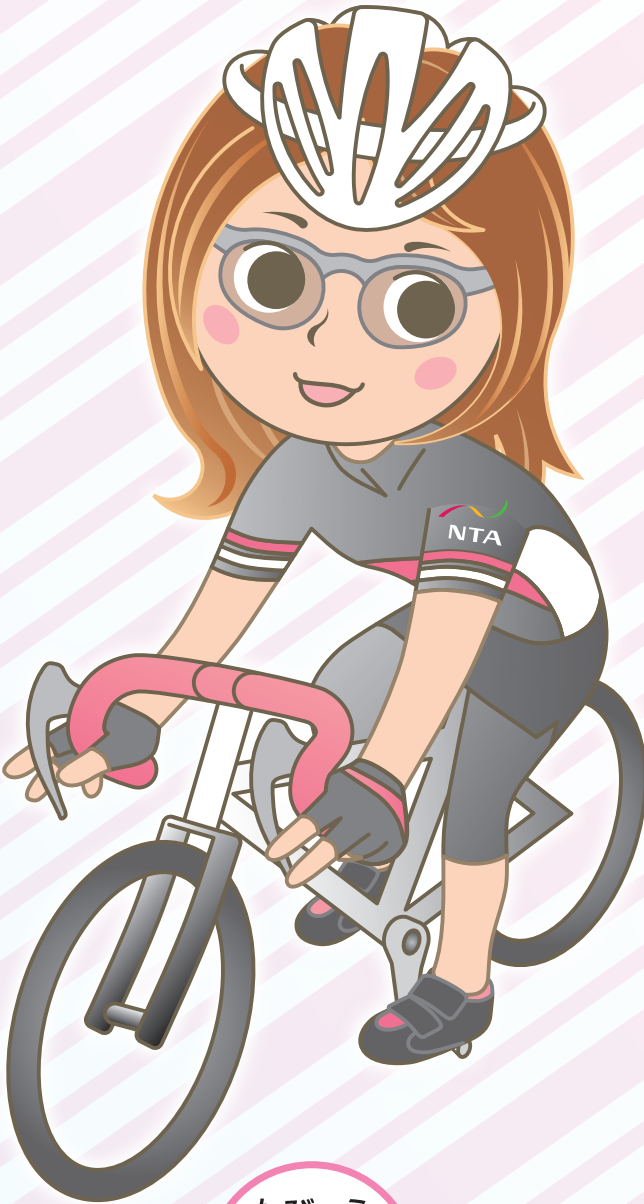


あなたのアンチストレスに、
イチバンでありたい。



たびーら 🔍 検索

Facebook たびーら



サイクリング、ゴルフ、SUP^{※1}、etc...
女子が中心のスポーツフェス!!

スポーツ ×キレイ ×旅

スポーツを楽しむなら
スタイルやお洒落にも
ちゃんとかかわりたい、
そんな女子のための
素敵なイベントを
全国で開催いたします。
旅をしながら各地の
キレイな空気や景色、
そこで味わう食やスイーツなども
一緒に楽しみましょう。

※1 SUP=スタンドアップ・パドル・ボード

たびーら

全ての女子を応援する
日本旅行のマスコット。
イベントにも
駆けつけます。



日本旅行女子旅ナビゲーター

たびーら

旅することは一番のストレス解消方法。たびーらは
「アンチストレス」をテーマに女性のための様々な旅をご提案いたします。



感動をカタチにしてすべての人へ

ALL SPORTS community



オールスポーツコミュニティは
スポーツの第一線で活躍するプロカメラマンが撮影した質の高い写真を
インターネットで閲覧し、購入できるサービスです。
日本全国で撮影したトライアスロン大会の写真を掲載中です。
あなたの写真がきっとある。

オールスポーツ

検索

<http://allsports.jp/>

感動をカタチにしてすべての人へ

ご不明な点は下記連絡先までお問い合わせください (TEL: 平日10:00~18:00 / FAX&E-mail: 24時間受付中)

株式会社フォトクリエイト
〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-16-6 タツミビル2F



03-5909-5880



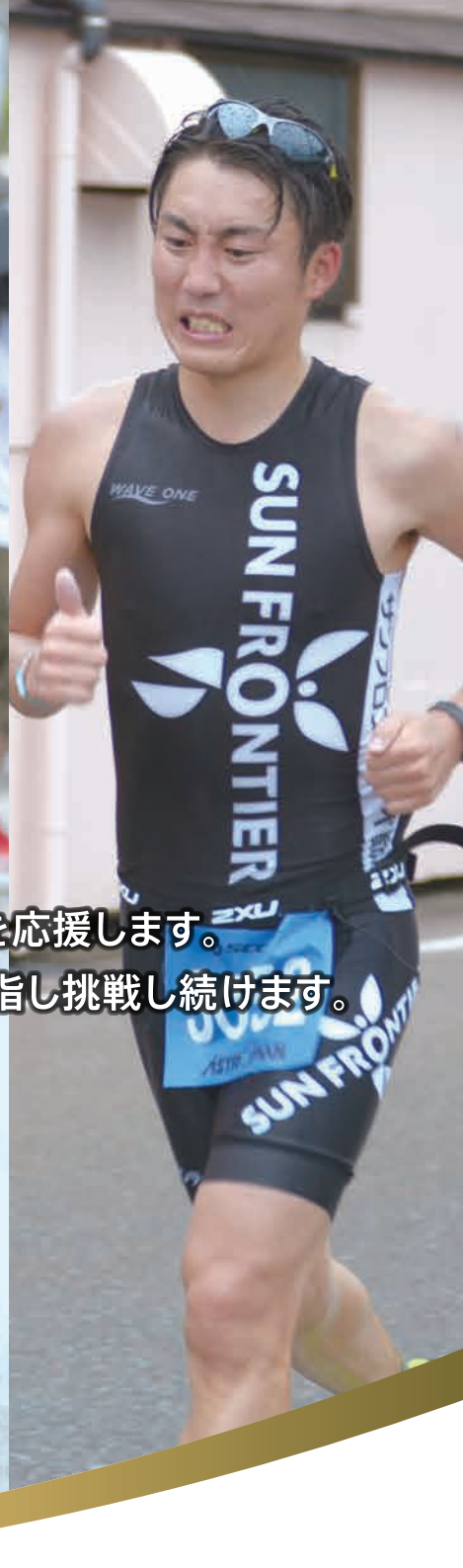
03-3348-5105



support@photocreate.co.jp

Photo Create
<http://photocreate.co.jp/>





果敢に挑戦し続けるアスリートたちを応援します。
私たちが世界一お客様に愛される企業を目指し挑戦し続けます。



SUN FRONTIER
サンフロンティア不動産



© Satoshi Takasaki/JTU © Shinji Kawata/JTU

全ての挑戦者に
エールを。

NTT東日本は
トライアスロンを応援しています。

NTT東日本 
つなぐ、を、つよく。

2016 JTU OFFICIAL SPONSORS



LAWSON



セレスポ



SHIMANO

HIS



SPORTS CLUB NAS

HUUB



Photo Create





がんばれ東北!
がんばろう日本!
STURDY TEAM
JAPAN